Panasonic®

DVDビデオレコーダー

品番 DMR-E95H

取扱説明書 操作編

操作の前に、別冊の「準備編」をよくお読みのうえ、接続と設定をしてください。
詳しいもくじは、2〜3ページをご覧ください。

画面から番組を選んで、カンタン予約
番組表(EPG)から録画!
16ページ

録りためた映像を ディスクに残そう!
34
●ビデオテープからダビング 38
●ビデオカメラからダビング 38

ダビング使い分け
●1つの番組だけなら「ワンタッチダビング」 35
●いろいろな番組をまとめて「ダビングリスト」 36

ついつい忘れがちな・・・
●DVD-Rを他のプレーヤーでも再生するには「ファイナライズ」 43
●DVD-Rに高速ダビングするには「DVD-R高速モード用録画」を「入」で録画 44

保証書別添付　上手に使って上手に節電

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(☞4〜5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、ユーザー登録をお願いいたします。インターネットまたは郵送での登録が可能です。詳しくは、同梱の「ユーザー登録カード」をご覧ください。

DVD関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/

もくじ

部分消去から、
オリジナル映像づくりまで

作る

録りためた映像を
ディスクに残そう!

残す

もし困ったとき

必要なとき

ついつい忘れがちな…

DVD-Rを他のプレーヤーでも
再生できるようにする
「ファイナライズ」など…

便利機能

故障かな!?

確認

録る

見る
／聞く

作る

残す

便利
機能

必要
なとき

故障
かな !?

まず ご確認を

さあ使おう！

録る

すぐ録画

予約録画

見る／聞く

番組を選んで、
カンタン予約

番組表から録画！

編集使いこなし術！

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

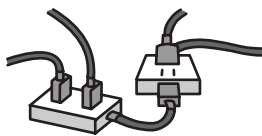
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

雷について

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

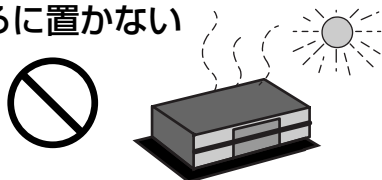
- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **落下などで外装ケースが破損したとき**
- **煙や異臭、異音が出たとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

⚠注意

設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に置かない

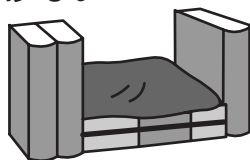
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**
- **本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- **後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。**

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

ご使用について

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

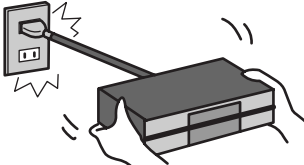
ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

乾電池について

電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

HDD(ハードディスク)と本機で使えるディスク・カード

HDD などは本書内の表示です。

HDDと録画できるディスク

種類	ディスクのロゴマーク	特長	
内蔵 ハードディスク HDD (HDD) 250 GB	—	**一時的録画用** ●最大約443時間録画できます。[EP(8H)モード時。] ●録画中の番組を頭から見ること(追っかけ再生)ができます。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送が録画できます。[デジタルハイビジョン画質での録画はできません。録画した番組は「CPRM」対応のDVD-RAMへの移動のみできます。(HDDからは消去されます。)] ●デジタルカメラなどで撮った写真の複製(ダビング)や再生ができます。	録画モード ☞13ページ 追っかけ再生 ☞15ページ CPRM ☞8、46ページ 写真の複製 ☞40ページ
ディーブイディー ラム DVD-RAM (RAM) ●4.7 GB/9.4 GB(12 ㎝) ●2.8 GB(8 ㎝)	RAM RAM4.7	**保存用(くり返し使用可能)** ●最大約16時間録画できます。[両面ディスクでEP(8H)モード時。両面への連続録画・再生はできません。] ●録画中の番組を頭から見ること(追っかけ再生)ができます。 ●キズやホコリに強いカートリッジ付きや、大容量(9.4 GB)の両面型もあります。 ●著作権保護技術「CPRM」に対応したディスクでは、「1回だけ録画可能」のデジタル放送が録画できます。(デジタルハイビジョン画質での録画はできません。録画した番組はダビングできません。) ●高速記録対応のディスクを使うと、HDDから最大24倍速でダビングできます。 ●デジタルカメラなどで撮った写真の複製(ダビング)や再生ができます。	録画モード ☞13ページ 追っかけ再生 ☞15ページ CPRM ☞8、46ページ ダビング ☞34ページ 写真の複製 ☞40ページ
ディーブイディー アール DVD-R (DVD-R) ●4.7 GB(12 ㎝) ●1.4 GB(8 ㎝)	R R4.7	**保存用(1回のみ)**(ディスクがいっぱいになるまで追記可能) ●最大約8時間録画できます。[EP(8H)モード時。] ●ファイナライズするとDVDビデオ(再生専用)としてDVDプレーヤーなどで再生できます。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は録画できません。 ●高速記録対応のディスクを使うと、HDDから最大32倍速でダビングできます。	録画モード ☞13ページ ファイナライズ ☞43、46ページ ダビング ☞34ページ

再生のみできるディスク(12 cm/8 cm)

種類	ディスクのロゴマーク	特長	
DVDオーディオ (DVD-A)	AUDIO	高音質の音楽用市販ソフト ●本機では2チャンネルで再生されます。	
DVDビデオ (DVD-V)	VIDEO	映画や音楽など、高画質の市販ソフト ●本機では右のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」、「ALL」、「2」を含むもの 2 ALL 例) 1 2 4 ・番号は国により異なります。
CD (CD)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽や音声が記録された市販ソフト(CD-R、CD-RWを含む※)	
	—	MP3圧縮形式で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※	MP3について ☞23ページ
ビデオCD(VCD) (VCD)	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音楽や映像が記録された市販ソフト(CD-R、CD-RWを含む※)	

※ CD-DA、MP3、ビデオCDのいずれかの規格で記録し、ファイナライズ(☞46ページ)した音楽用CD-R/CD-RW。使用するディスクや記録状態によって、再生できないことがあります。

●ソフト制作者の意図などにより、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

ディスクやカードは相性が確認済みの当社製をおすすめします。（☞8ページ「別売品のご紹介」）
- 当社製以外のDVD-Rは、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- ディスクやカード、関連機器の互換性などの情報は、当社のホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

ビデオテープとの違いは？
— **早送り／巻き戻しが不要です。**
- 自動的に未収録部分を探して録画します。
- 録画した番組を一覧表から選んで再生できます。

DVD-RAMとDVD-Rでは、どちらを使えばいい？
—**下表のような特長があります。用途に応じて選んでください。**

（○：できる、×：できない）

特長	DVD-RAM	DVD-R
くり返し録画	○	×
編集	○	※1
他のDVD機器で再生	○※2	○※3
二重放送の主／副音声を両方記録	○	×※4
「1回だけ録画可能」のデジタル放送を録画	○※5	×
16：9映像の記録	○	※6

※1 消去、タイトル名／ディスク名の入力、サムネイル変更のみできます。ただし、消去しても残量は増えません。
※2 DVD-RAM対応機器でのみ再生できます。
※3 ファイナライズ（☞43、46ページ）する必要があります。
※4 片方のみを記録します。「二重放送音声記録」（☞45ページ）で選択してください。
※5 CPRM対応ディスクのみ。（☞8ページ）
※6 4：3映像で記録します。

お知らせ

「DVD-R高速モード用録画」（☞44ページ）を「入」に設定すると、DVD-RAMへ録画する場合でも、二重放送音声の記録などに制限が加えられます。DVD-Rに高速モードでダビングする必要のない番組は、「切」で録画してください。

使えないディスク

- 2.6 GB／5.2 GB DVD-RAM(12㎝)
- 3.95 GB／4.7 GB DVD-R for Authoring
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズ（☞46ページ）されていないDVD-R
- PAL方式で記録されたディスク（DVDオーディオの音声は再生できます。）
- リージョン番号 **「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
- DVD-ROM
- DVD-RW
- +R
- +RW
- CD-ROM
- CDV
- CD-G
- Photo-CD
- CVD
- SVCD
- SACD
- MV-Disc
- PD

など

本機で使えるカード

種類

- SDメモリーカード ※1
- マルチメディアカード

SDカードスロットに直接入れられます。（SD）

- コンパクトフラッシュ
- スマートメディア
- メモリースティック
- xDピクチャーカード
- マイクロドライブ

PCカードスロットにアダプター(TYPE Ⅱ のPCカードアダプター)経由で入れられます。（PC）

- ATA Flash メモリーカード
- モバイル ハードディスク ※2

PCカードスロットに直接入れられます。（PC）

※1 miniSD™カードを含む。必ず専用のminiSD™アダプターに装着してご使用ください。
※2 SDメディアストレージ（別売）で記録したもの。記録されている写真の再生と、他のカードやHDD、DVD-RAMへの複製のみができます。

特長

- デジタルカメラなどで撮った写真の複製（ダビング）や再生ができます。（写真の複製 ☞40ページ）
- 写真のプリント枚数の設定（DPOF設定）ができます。（DPOF設定 ☞32ページ）

- カードの対応フォーマット：FAT12、FAT16
- 2 GBをこえるSDカードは使用できません。
- カードは記録前に本機でフォーマットすることをおすすめします。(☞42、46ページ)
- パソコンでフォーマットすると使用できないことがあります。

デジタル放送のお知らせ

準備編3ページもお読みください。

デジタル放送には「1回だけ録画可能」※1のコピー制御信号が加えられています。

※1「デジタル1 COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。　（2004年4月から）

- 「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMという著作権保護技術に対応した録画機器とディスクでのみ録画できます。
- コピー制御信号は、デジタル放送の不正なダビングを防止し、著作権を保護するためのものです。
- コピー制御信号の入った番組は、他のデジタル録画機器（D-VHSやDVDレコーダーなど）にはダビングできません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/
社団法人　BSデジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

■録画の制限について

デジタル放送を録画するときは、使用するディスクにご注意ください。

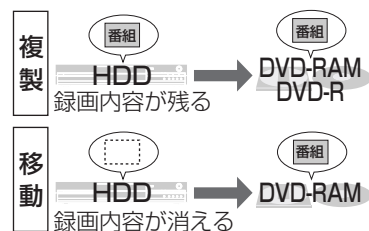
DVD-R

「1回だけ録画可能」の番組は
- **内蔵HDDまたはCPRM※2対応のDVD-RAMにのみ録画できます。**
- **DVD-Rや2.8 GB(8 cm)のDVD-RAMには録画できません。**
- **HDDからCPRM※2対応のDVD-RAMに移動※3のみできます。(HDDからは消去されます。)**
- **DVD-RAMからHDDへの複製・移動※3はできません。**

（○：録画できる、×：録画できない）

ディスク／放送の種類	HDD(内蔵)	DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R
制限なしに録画可能	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	×	×
録画禁止	×	×	×	×

予約録画時は、挿入されているディスクにご注意ください。

※2 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。
※3 **複製と移動の違いについて**

お知らせ

- 録画制限のある番組とない番組を1つの番組（タイトル）として続けて録画した場合は、録画制限のある番組になります。時刻設定のずれなどにより、録画した番組の一部に録画制限のある番組が入った場合も同様です。タイトル分割などの編集を行っても、録画制限の情報は残ります。
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合、CPRM方式に対応していない機器では再生できません。(当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーは、すべてCPRM方式に対応しています。)
- 「1回だけ録画可能」の番組をビデオテープにダビングする場合、マクロビジョン（著作権保護技術）信号により正常にダビングできないことがあります。

別売品のご紹介（2004年5月現在）

接続ケーブルなどは準備編3ページをご覧ください。

■ディスクに録画するには

- TYPE4カートリッジDVD-RAMディスク
  (9.4 GB：両面)
  ：LM-AD240L（1枚／3X高速記録対応）
  ：LM-AD240P5（5枚組）
- TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク
  (4.7 GB：片面)
  ：LM-AB120L（1枚／3X高速記録対応）
  ：LM-AB120P5（5枚組）
- DVD-RAMディスク
  (4.7 GB：片面、カートリッジなし)
  ：LM-AF120L（1枚／3X高速記録対応）
  ：LM-AF120K10（10枚組）
- DVD-Rディスク
  (4.7 GB：片面、カートリッジなし)
  ：LM-RF120LJ（1枚／4X高速記録対応）
  ：LM-RF120LH（1枚／4X高速記録対応／インクジェットプリンター対応）
  ：LM-RF120LJ5（5枚組／4X高速記録対応）

■カードで楽しむには

- SDメモリーカード
  ：RP-SDH01GJ1A（1 GB）
  ：RP-SDH512N1A（512 MB）
  ：RP-SDH256N1A（256 MB）
  ：RP-SD128BL1A（128 MB）
  ：RP-SD064BL1A（64 MB）
  ：RP-SD032BL1A（32 MB）
- miniSD™カード
  ：RP-SS128BJ1K（128 MB）
  ：RP-SS064BJ1K（64 MB）
  ：RP-SS032BJ1K（32 MB）
- SDメディアストレージ
  (モバイルハードディスク内蔵)：SV-PT1

■お手入れには

- クリーニングクロス：VUA7091※
- DVD-RAM/PDディスククリーナー
  ：RFKZ0093※
  ：LF-K200DCJ1
- DVD-RAM/PDレンズクリーナー
  ：JZSLFK123LC1※

※お買い上げの販売店にご注文ください。

ハードディスク
HDDの取扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。大切な映像の保存のためにも、DVDディスクへのダビングを前提の上でお使いください。

■HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

HDD内に不具合箇所があると、異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクにダビングしてください。

HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

重要なお願い

■設置時

- **後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない**
- **水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する**
- **ビデオなどの熱源となるものの上に置かない**

- 温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- 「つゆつき」が発生しにくい場所に設置する

つゆつきとは…温度差が激しいため、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象。本機の故障の原因となります。

「つゆつき」が発生しやすい状況

- 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部でつゆつきが発生し、ヘッドなどを傷つける可能性があります。
- 部屋の湿度が高いとき（湯気が立ち込めるなど）
- 梅雨の時期

上記の場合は、部屋の温度になじむまで、**電源を切ったままにしておいてください。**（約2～3時間）

■タバコの煙などは故障の原因になります

タバコの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■動作中

- 振動や衝撃を与えない（HDDが破損することがあります。）
- 電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない

通電中、HDDは高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

■移動させるとき

① 電源を切る（表示窓から「BYE」が消える）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから（2分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています。）

■HDDの記録時間の残量

HDDへの録画は、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。残量表示が少ないときは、あらかじめ不要な番組（タイトル）を消去し、余裕がある状態で録画してください（プレイリストを消去しても残量は増えません）。

■表示窓に「HDD SLP (SLEEP)」が表示されたときは

HDDが自動的に休止状態になっています。（通電中、HDDは高速で回転しています。HDDの寿命を延ばすため、ディスクトレイにディスクを入れていない状態で30分以上操作しないと休止します。）

- [HDD]を押すと起動します。
- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。
- HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

■録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

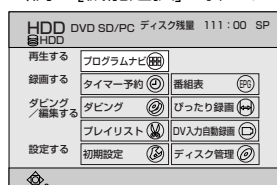
DVD電源

入力切り換え（L1、L2、L3、DV）

チャンネルや番組などを番号で選ぶ／番号を入力する

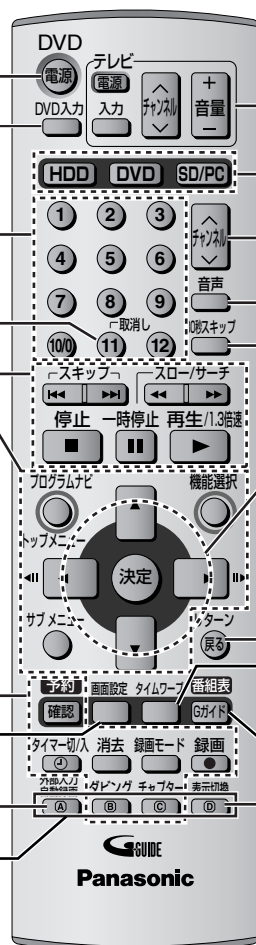
入力を取り消す

録画や再生時の基本操作

機能メニュー／ディスクメニューを表示する
（例：[機能選択]を押したとき）

録画・予約録画・簡単な編集・ダビング

ディスクの再生方法を設定する（☞26ページ）

デジタル放送などと連動して録画する（☞15ページ）

番組表を操作する（☞16ページ）

テレビを操作する（☞準備編裏表紙）

HDD／DVD／SDカード／PCカードを切り換える

チャンネルを順に選ぶ

音声を切り換える（☞22ページ）

約30秒飛びこす（☞22ページ）

メニュー画面で選択／決定する

カーソルで選び　決定する

メニュー画面で前の画面に戻る

時間を指定して飛びこす／子画面でテレビを見る（☞15、22ページ）

番組表から予約録画する（☞16ページ）

録画・再生時の情報を表示する（☞23、25ページ）

本体

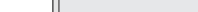
※本体背面は☞準備編4ページ

リモコンモード／時刻合わせ

他の機器が誤動作するのを防ぐ（2台以上の当社製DVDレコーダーなどを使うとき） リモコンモード

通常は変更する必要はありません。

本体の設定

1 停止中に 機能選択 ➡ 「初期設定」を選び 決定を押す

2 「設置」を選び 押す ➡ 「リモコンモード」を選び 決定を押す

3 「リモコン2」などを選び 決定を押す

「リモコンの設定」

4 押しながら、画面に表示される数字の数字ボタン（[2] など）を2秒以上押したままにする ➡ 決定を押す

■表示窓に "U12" が表示されたら

リモコンの設定が本体の設定と合っていません。

手順4でこの数字に合わせる

お知らせ

チューナーなどのIrシステム（☞ 47ページ）を使用する場合は、本機で設定したリモコンモードにIrシステムのリモコンモードを合わせてください。詳しくは、チューナーなどの説明書をご覧ください。

時刻を合わせる 時刻合わせ

本機は毎日12時と19時に本機が電源「切」状態であれば、NHK教育テレビの時報が放送されるかどうかを確認します。時報が放送されると、それに合わせて自動的に時刻を修正します。ただし、誤差が2分以上あるときは、以下の操作で合わせ直してください。

1 停止中に 機能選択 ➡ 「初期設定」を選び 決定を押す

2 「設置」を選び 押す ➡ 「時刻合わせ」を選び 決定を押す

3 年→月→日→時→分を選び 設定する ➡ 自動時刻チャンネルを選び 「NHK教育」の表示番号に設定する

● 「自動」にすると自動的にNHK教育を探しますが、時間がかかることがあります。

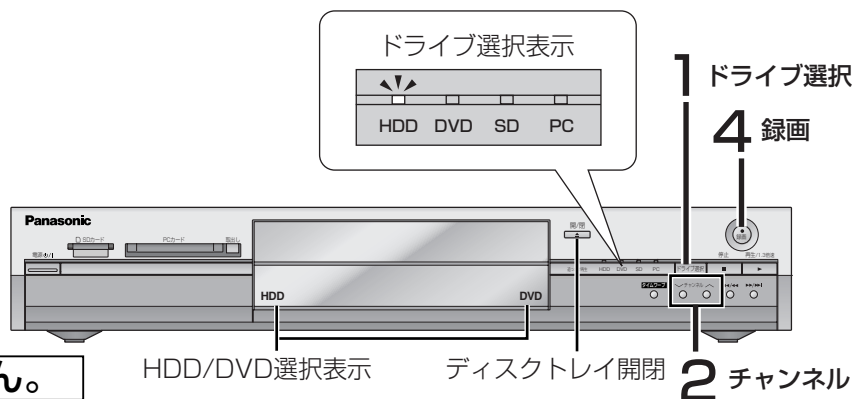
4 決定を押す

お知らせ

以下の場合には、時刻の自動修正ができません。

– 「自動時刻チャンネル」が「––」（解除）になっているとき

– 時報が放送されなかったとき

■設定を終了するには➡ リターン（戻る） を数回押す　■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る） を押す

録画する

カードへの録画はできません。

HDDまたはDVD-RAMに録画する HDD RAM

■ 録画後DVD-Rに高速モードでダビングする場合は
HDDへの録画前に「DVD-R高速モード用録画」を「入」にする。(☞44ページ)
●画面サイズは4：3で記録されます。
●2カ国語放送などの二重放送録画時
–地上アナログ放送：「二重放送音声記録」(☞45ページ）で「主音声」または「副音声」を選ぶ
–BSアナログ・CS・CATV放送：チューナーまたはホームターミナル側で「主音声」または「副音声」を選ぶ
録画制限のあるデジタル放送はダビングできません。

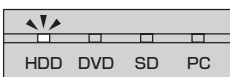
- HDDとDVD-RAMに、同時に録画することはできません。
- HDDには最大500番組（タイトル）、DVD-RAMには最大99番組（タイトル）録画可能です。
- 両面ディスクの裏面に録画するときは、ディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cmのDVD-RAMは、カートリッジから取り出してください。

デジタル放送の録画は、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。（☞ 8ページ）

1

HDD または DVD **録画先を選ぶ**

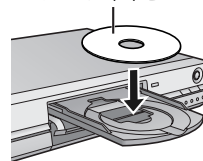
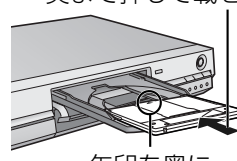
本体のHDDまたはDVDランプが点灯

例）HDD

■ **DVD-RAMに録画する**

開/閉（本体）を押してディスクを入れ

⬇

開/閉（本体）を押して閉める

RAM（カートリッジなし）
ラベル面を上に

RAM（カートリッジあり）
奥まで押して載せる
矢印を奥に

2

地上アナログ放送

録画したいチャンネルを選ぶ

- 二重放送の両音声（主音声＋副音声）を録画できます。再生時に音声が選べます。（☞ 22ページ）
- 録画中、音声 で音声を切り換えても、録画音声には影響しません。

地上デジタル・BS・CS・CATV放送

DVD入力 **チューナーまたはホームターミナルを接続した端子に合わせて選ぶ**（例：外部入力1に接続した場合は「L1」を選ぶ）

⬇

チューナーまたはホームターミナル側で録画したいチャンネルを選ぶ

- 二重放送の録画時、チューナーまたはホームターミナル側で「主音声＋副音声」を選ぶと、再生時に音声が選べます。
- テレビのモニター出力から録画する場合、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。

例）HDD

3

録画モード **録画モードを選ぶ**
（☞ 13ページ「録画モード」）

XP → SP → LP → EP

残量（例: 55時間）

- 「XP」では、Dolby Digital（☞46ページ）または高音質のLPCM（☞47ページ）の音声で記録するかが選べます。（☞45ページ「記録音声モードの設定〔XP時〕」）

4

録画 **録画を始める**
未記録部分に録画され、上書きはされません。

- 録画中は、チャンネルや録画モードなどの変更はできません。
- 番組表（☞16ページ）に放送内容がある場合は、録画終了後、自動的にタイトル名がつきます（3分以上録画した番組のみ）。

DVD-Rに録画する DVD-R

- HDDとDVD-Rに、同時に録画することはできません。
- DVD-Rには最大99番組（タイトル）録画可能です。

録画制限のあるデジタル放送は録画できません。(☞8ページ)

- **他の機器で再生するには、録画後ファイナライズ**（☞43ページ）**が必要です。**

1

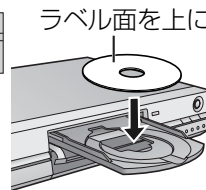
DVD 本体のDVDランプが点灯

ラベル面を上に

開/閉(本体)を押してディスクを入れ

⬇

開/閉(本体)を押して閉める

2

（地上アナログ放送）

録画したいチャンネルを選ぶ

- 二重放送の録画は、「二重放送音声記録」（☞45ページ）で「主音声」または「副音声」を選ぶ。

（BSアナログ・CS・CATV放送）

DVD入力

チューナーまたはホームターミナルを接続した端子に合わせて選ぶ

（例：外部入力1に接続した場合は「L1」を選ぶ）

⬇

チューナーまたはホームターミナル側で録画したいチャンネルを選ぶ

- 二重放送の録画時、チューナーまたはホームターミナル側で「主音声」または「副音声」を選んでください（再生時に音声は選べません）。
- テレビのモニター出力から録画する場合、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。

手順3～4は、12ページと同様です。

■一時停止するには ➡ 一時停止 を押す

- もう一度押すと録画を続けます。
  （番組は分割されません。）

■停止するには ➡ 停止 を押す

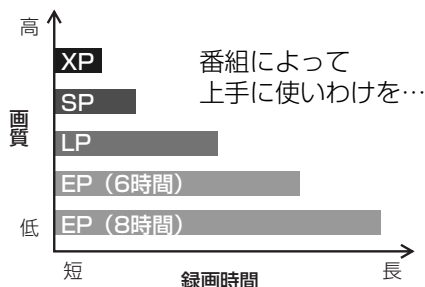
- 停止した位置までが1番組（タイトル）となります。
  [HDD 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組（タイトル）に分けて記録されます。]
- DVD-R 停止するまでに約30秒かかります。
- 節電のため、6時間停止状態が続くと自動的に電源が切れます。
  （時間変更は「自動電源〔切〕」☞44ページ）

録画モード（画質と録画時間）

高 / 低 画質

XP
SP
LP
EP（6時間）
EP（8時間）

短 録画時間 長

番組によって
上手に使いわけを…

- EP時の音質は、6時間の方が高音質です。

数値はめやすです。録画する内容によっては、変化することがあります。

単位:時間

録画モード ＼ ディスク	HDD（内蔵）250 GB	DVD-RAM 片面4.7 GB	DVD-RAM 両面9.4 GB	DVD-R 4.7 GB
XP（高画質）	55	1	2	1
SP（標準）	111	2	4	2
LP（長時間）	222	4	8	4
EP（長時間）	443（333※）	8（6※）	16（12※）	8（6※）

※「EP時の記録時間」（☞44ページ）でEP(6H)を選ぶと設定できます。

FR（フレキシブルレコーディング）：

ディスクの残量に合わせてXP～EP(8H)の間で画質を自動調整します。

- ダビングや録画予約時に設定できます。
- HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を自動調整します。
- 本体の表示窓で、XP～EPがすべて表示されます。

（お知らせ）

DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。

録る

録画する

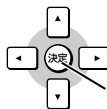
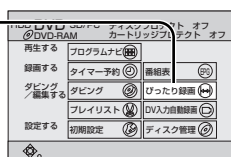
ぴったり録画／終了時刻予約録画

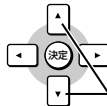
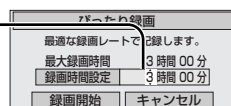
ディスクの残量に合わせて録画する ぴったり録画 HDD RAM DVD-R

ディスクの残量にぴったり入りきるように自動的に最適画質［☞13ページ「FR（フレキシブルレコーディング）」］を設定し、録画します。

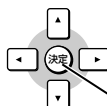
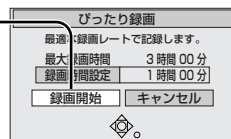
準備：録画したいチャンネルを選ぶ

1 停止中に

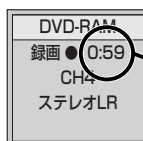
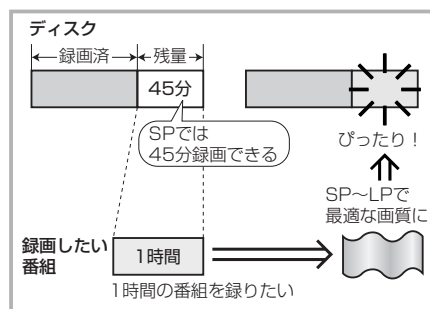
2 「ぴったり録画」を選び

決定を押す

3 「時間」→「分」を選び

設定する

- 数字ボタン[0、1～9]も使えます。
- 8時間をこえて設定することはできません。

4 録画を始めたいときに

「録画開始」を選び

決定を押す

■録画せずに画面を消すには ➡ リターン 戻る を押す

■途中で録画を止めるには ➡ 停止 ■ を押す

■残り時間を確認するには ➡ 表示切換 Ⓓ を押す

終了時刻を指定して録画する 終了時刻予約録画 HDD RAM DVD-R

録画中に

（本体）

押すたびに

OFF -- --:-- -- → 30分後 → 60分後 → 90分後 → 120分後

- ぴったり録画（☞上記）や予約録画（☞16～18ページ）では指定できません。

■途中で録画を止めるには ➡ 停止 ■ を押す

外部入力自動録画／追っかけ再生／同時録画再生／タイムワープ

デジタル放送などと連動して録画する

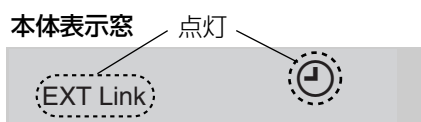
外部入力自動録画　HDD　RAM　DVD-R

デジタル放送のチューナーなどの予約待機ができる機器を、本機後面の**外部入力1（L1）**に接続すると、放送開始と連動させて録画を始めることができます。

デジタル放送を録画するときは、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。
録画制限のあるデジタル放送はDVD-Rに録画できません。（☞8ページ）

準備：● HDD または DVD を押して、ドライブを選択する
● 接続した機器で番組を予約し、待機状態にする

停止中

本体表示窓

電源が切れ、録画待機状態になります。接続した機器の放送開始で録画します。

- 接続した機器の放送開始を検知して録画を開始するため、番組の始まりが最大1分程度録画されないことがあります。
- 外部入力自動録画と予約録画（☞ 16～18ページ）は、同時に設定することはできません。

■外部入力自動録画待機を解除／録画を止めるには

➡ 外部入力自動録画Ⓐ をもう一度押す

- 誤動作防止のため、録画後は 外部入力自動録画Ⓐ を押して設定を解除してください。

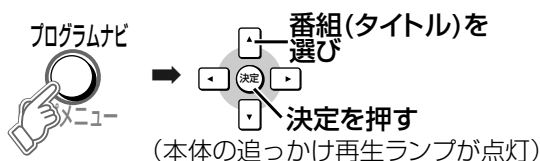
録画中の番組を頭から見る　追っかけ再生　HDD　RAM

（本体の追っかけ再生ランプが点灯）

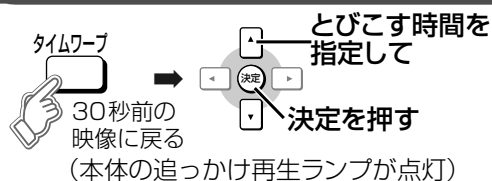
録画中に別の番組を見る　同時録画再生　HDD　RAM

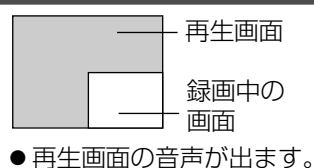
録画中、ドライブを切り換えて再生することもできます。（☞ 20ページ）

プログラムナビ ➡ ▲▼で番組(タイトル)を選び、決定を押す

（本体の追っかけ再生ランプが点灯）

■タイトル一覧を消すには ➡ プログラムナビ を押す

録画中の番組を戻して見る　タイムワープ　HDD　RAM

（本体の追っかけ再生ランプが点灯）

- 再生画面の音声が出ます。

■録画中の画面表示を入切するには ➡ タイムワープ を押す

■再生を止めるには ➡ 停止■ を押す

■録画を止めるには ➡再生停止後、約2秒待って 停止■ を押す

■予約録画を止めるには ➡ タイマー切/入 を押す

- 本体の[■、停止]を3秒以上押したままにしても止まります。

ぴったり録画／終了時刻予約録画

録る

外部入力自動録画／追っかけ再生／同時録画再生／タイムワープ

番組表(テレビ番組ガイド)を使って予約録画

番組表から選ぶだけで予約できます。 HDD RAM DVD-R
（最大32番組）

番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。（☞ 準備編8～9ページ）

■番組表を消すには➡ 番組表 Gガイド を押す

■前の画面に戻るには➡ リターン 戻る を押す

■予約待機状態を解除／設定するには
➡ タイマー切/入 を押す（表示窓の ⊙ 消灯/点灯）

■予約録画を止めるには
➡ タイマー切/入 を押す（表示窓の ⊙ 消灯）

本体でも予約録画を止めたり、待機状態を解除できます。

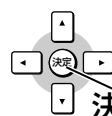
［■、停止］を3秒以上押したままにする

■予約の確認、変更、取消しをするには（☞19ページ）

■地上デジタル・BS・CS・CATV放送を予約録画するには
（☞18ページ）

■HDDに予約録画後、DVD-Rに高速モードでダビングする場合は
（☞12ページ）

■DVD-Rに二重放送を予約録画するには
「二重放送音声記録」（☞45ページ）で、「主音声」または「副音声」を選ぶ。

まず、時刻の確認を！！
時刻を合わせるには（☞11ページ）

1

番組表 Gガイド

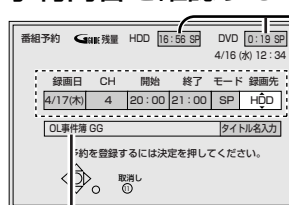
2

予約したい番組を選び

決定を押す

■別の日の番組表を見るには
➡ チャプター Ⓒ （前日）または 表示切換 Ⓓ （翌日）を押す

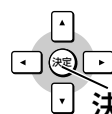
3

予約内容を確認する

残量 録画先が“DVD”で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。（☞19ページ「リリーフ（代替）録画について」）

タイトル名には“GG”（Gガイド)が付きます。
［Ⓝ（ニュース）などの文字は入りません。］

■内容を変更するには➡18ページの手順**2**
- 表示窓に“XP”が表示されているときは、残量不足による録画の失敗を防ぐために、録画モードは「FR」が設定されます。「XP」で録画する場合は、変更してください。

■タイトル名を変更するには
➡［◀▶］で タイトル名入力 を選び、［決定］を押す
（☞33ページ「文字入力」）

4

決定を押す

予約した番組に“予”が表示され、予約待機状態になります。
（表示窓に“⊙”が点灯）

- 電源の入／切にかかわらず予約録画は実行されます。
- 予約待機中も録画や再生ができます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
- 編集中や等速（☞34ページ）でダビング中は、予約録画が実行されません。
- 複数の予約が連続しているときは番組の始まりが数秒（DVD-Rは約30秒）録画されません。
- 予約は登録した時刻に実行されます。放送時間の変更には対応していません。

番組表の見方と便利な機能

16ページ、手順1の後

■選んだチャンネルに切り換えてテレビを見るには

➡ を押す

（録画中は、切り換えることはできません。）

■番組の詳しい内容を見るには

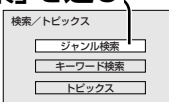
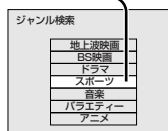
➡番組を選び、 外部入力 自動録画 Ⓐ を押す

■ジャンルで番組を探して予約する

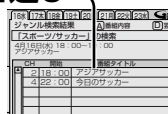
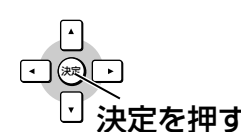
「ジャンル検索」を選び

ジャンルを選び

決定を押す

決定を押す

サブジャンルを選び
（例：サッカー）

予約したい番組を選び

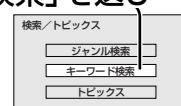
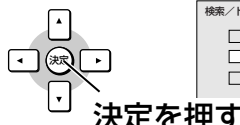
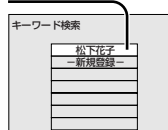
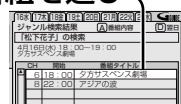
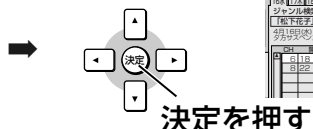
決定を押す

決定を押す

➡16ページ、手順3へ

● チャプター Ⓒ（前日）または 表示切換 Ⓓ（翌日）を押すと、別の日の検索結果を表示します

■キーワードで番組を探して予約する

「選択中の番組の紹介」（☞上記）に表示される文字を検索します。（最大登録数：8）

「キーワード検索」を選び

キーワードを選び

決定を押す

決定を押す

● “新規登録”を選んだ場合は、検索したい文字を入力後（☞33ページ「文字入力」）、決定を押す

予約したい番組を選び

決定を押す

➡16ページ、手順3へ

● チャプター Ⓒ（前日）または 表示切換 Ⓓ（翌日）を押すと、別の日の検索結果を表示します

■トピックス（映画、音楽、スポーツなどの簡単な情報）を見る

「トピックス」を選び

見たい項目を選び

決定を押す

決定を押す

番組表を使わずに予約録画

HDD RAM DVD-R

■**HDDに予約録画後、DVD-Rに高速モードでダビングする場合は**（☞12ページ）

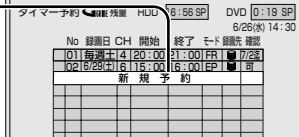
■**DVD-Rに二重放送を予約録画するには**
－地上アナログ放送の場合、「二重放送音声記録」（☞45ページ）で「主音声」または「副音声」を選ぶ。
－BSアナログ･CS･CATV放送の場合、チューナーまたはホームターミナル側で「主音声」または「副音声」を選ぶ。

まず、時刻の確認を！！
時刻を合わせるには（☞11ページ）

デジタル放送を録画するときは、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。録画制限のあるデジタル放送はDVD-Rに録画できません。（☞ 8ページ）

1

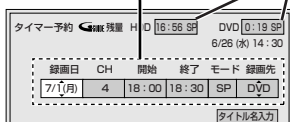
予約 確認 ➡ **「新規予約」を選び**

決定 **決定を押す**

● 予約は1カ月以内の32番組まで登録できます。（毎日、毎週の予約は1番組として登録されます。）

2

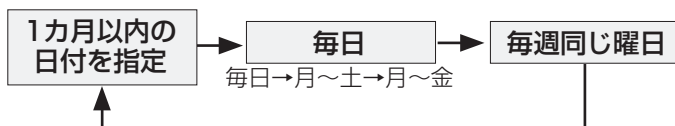
録画日→CH→開始→終了→モード→録画先を選び

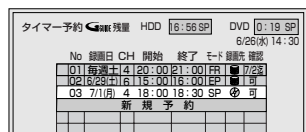
設定する

➡

決定を押す

残量 録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。（☞19ページ「リリーフ（代替）録画について」）

● 時刻設定は[▲▼]を押したままにすると、30分単位で変更できます。
● 録画日、CH、時刻は**数字ボタン[0、1～9]**でも選べます。
　モードや録画先は、**[録画モード]**や**[HDD]、[DVD]**でも変更できます。
● 地上デジタル・BS・CS・CATV放送の予約録画
　－CHは、チューナーまたはホームターミナルを接続した端子に合わせる。
　　（例：外部入力1に接続したときは「L1」）
　－チューナーまたはホームターミナル側でも予約設定する。
　　（モニター出力から録画する場合、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。）
　　（詳しくはチューナーまたはホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。）

■録画日を設定する

3

予約内容を確認する

4

予約待機状態になります。
（表示窓に"⊙"が点灯）

● 電源の入／切にかかわらず予約録画は実行されます。
● 予約待機中も録画や再生ができます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
● 編集中や等速（☞34ページ）でダビング中は、予約録画が実行されません。
● 複数の予約が連続しているときは番組の始まりが数秒（DVD-Rは約30秒）録画されません。

■録画を自動更新(オートリニューアル)するには

録画先がHDDで「毎週予約」か「毎日予約」で、前回録画した番組に上書き(前回分を消して録画)します。
➡「更新」を選び「入」に設定する
● 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中やダビング中は上書きされません（別番組として録画され、次回からそれが更新されます）。
● 番組が更新されると、元の番組から作られたプレイリストも消去されます。
● HDDの残量が少ないと番組の最後まで上書きされないことがあります。

■タイトル名を入力するには

➡上記手順2で録画先を設定後、
　[◀▶]で タイトル名入力 を選び、[決定] を押す
　（☞33ページ「文字入力」）
● 入力しなくても、番組表に放送内容がある場合は、録画後に自動的にタイトル名がつきます（3分以上録画した番組のみ）。

予約の確認・変更・取消し

本体の電源が「切」のときでも操作できます。

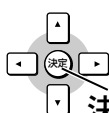
HDD RAM DVD-R

1 予約状況が絵文字などで表示されます。

■リリーフ（代替）録画について

録画先が“DVD”で、録画する番組がディスクに入りきらない場合は、自動的に録画先を“HDD”に変更します。

- トレイにディスクがない場合や、録画できないディスクが入っている場合、ダビング中に予約録画が実行された場合もHDDへ録画先を変更します。
- リリーフ録画された番組は、HDDのタイトル一覧（☞20ページ）で確認できます（“ ”が表示）。
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

2 **変更・取消したい予約を選び**

決定を押す

3 **■変更するときは➡**18ページの手順2

■取消すときは➡ ⑪（取消し） を押す

お知らせ

- 予約時刻が重なっている番組は、開始時刻の早い番組の録画が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
- 予約録画中の番組は、録画モードが「FR」以外のとき、終了時刻を変更できます。

■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る） を押す

■画面を消すには

➡ リターン（戻る） を数回押す

■予約待機状態を解除／設定するには

➡ タイマー切/入 を押す（表示窓の◴消灯/点灯）

■予約録画を止めるには

➡ タイマー切/入 を押す（表示窓の◴消灯）

本体でも予約録画を止めたり、待機状態を解除できます。

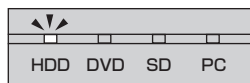
[■、停止] を3秒以上押したままにする

HDDやディスクを再生する

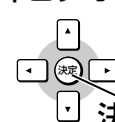
HDDを再生する／HDDに保存した写真を見る HDD

● ディスクへの録画中でも、HDDに切り換えて録画した番組の再生ができます。（録画中は写真の再生はできません。）

1

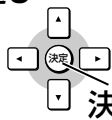
本体のHDDランプが点灯

2

■録画した番組（ビデオ）を見る場合は、再生/1.3倍速［▶］を押すと、最後に録画した番組の再生が始まります。

➡ 「ビデオ」を選び

決定を押す

写真を見るときは「写真」を選んで[決定]を押し、24ページ手順4へ

3

再生したい番組を選び

決定を押す

■前後のページを表示するには➡

[▲▼◀▶]で "前頁" または "次頁" を選び (決定) を押す

（[|◀◀、▶▶|]でもページの切り換えができます。）

■停止するには ➡ 停止［■］を押す ● 押した位置を記憶します。（続き再生メモリー機能 ☞21ページ）

■プログラムナビ画面を消すには ➡ プログラムナビ/トップメニュー を押す

ディスクを再生する／DVD-RAMに保存した写真を見る RAM DVD-R DVD-A DVD-V VCD CD

● HDDへの録画中でも、DVDに切り換えてDVD-RAMやDVD-Rに録画した番組やその他のディスクの再生ができます。（録画中は写真の再生はできません。）

1

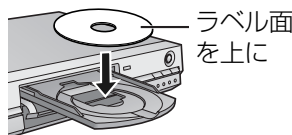
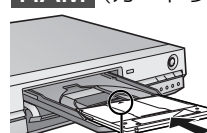
DVD

本体のDVDランプが点灯

⬇

開/閉［⏏］（本体）を押してディスクを入れ

⬇

開/閉［⏏］（本体）を押して閉める

RAM（カートリッジあり）

● 両面ディスクの裏面を再生するときは、ディスクを取り出し、裏返してください。
● 8 cmのDVD-RAMは、カートリッジから取り出してください。

2

RAM DVD-R 手順2～3は上記と同様です。

DVD-A DVD-V VCD CD

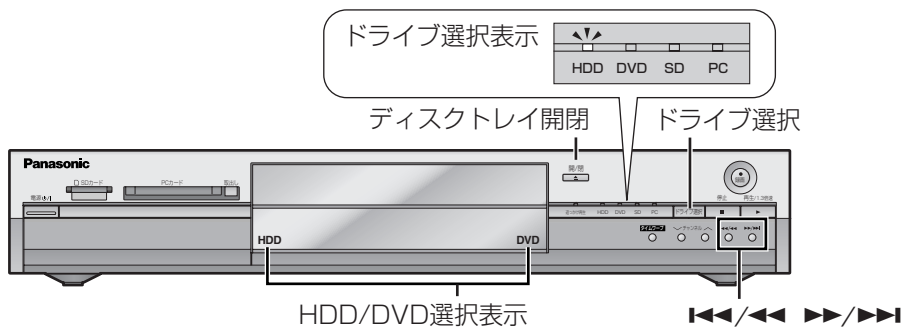
再生が始まります

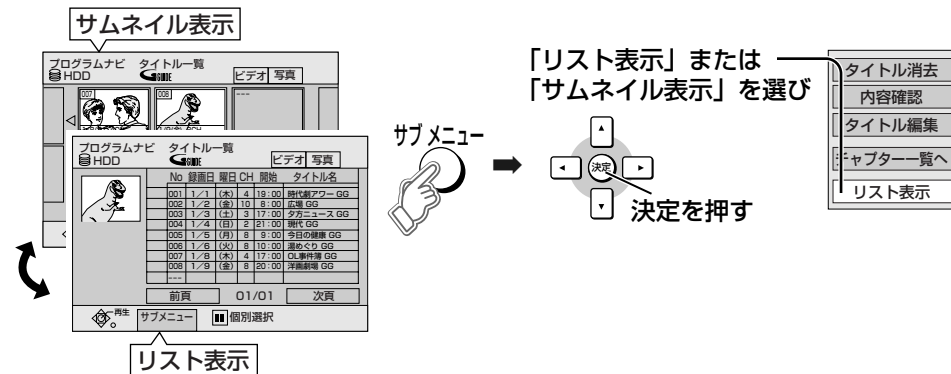
■メニュー画面が表示されたら

DVD-A DVD-V [▲▼◀▶]で項目を選び (決定) を押す
VCD 数字ボタン（2ケタ）で選ぶ（例：05、12）

● メニュー画面に戻るには
DVD-A ［トップメニュー］を押す
DVD-V ［トップメニュー］または［サブメニュー］を押す
VCD ［戻る、リターン］を押す

■停止するには ➡ 停止［■］を押す ● 押した位置を記憶します。（続き再生メモリー機能 ☞21ページ）

■プログラムナビ画面を消すには ➡ プログラムナビ/トップメニュー を押す

■プログラムナビ画面について

● 表示方法を変更する（電源を切っても保持されます。）

● 絵表示について

：書き込み禁止（プロテクト）を設定した番組
：録画禁止信号により録画できなかった番組（デジタル放送など）
X：再生できない番組（HDDにダビング中の番組／データが壊れているなど）
：録画中の番組
：HDDにリリーフ（代替）録画された番組（☞19ページ）
：「1回だけ録画可能」の番組（☞8ページ）

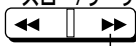
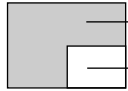
■続き再生メモリー機能

[停止 ■] を押して再生を停止すると、押した位置を記憶します。

[表示窓の“再生”が点滅（プログラムナビからの再生やプレイリストの場合は点滅しません。）]

[再生/1.3倍速 ▶] を押すと続きから再生します。

● 記憶した位置は、電源を切ったり、ディスクの場合はディスクトレイを開けると解除されます。

再生中の便利な使い方

機能	対応	ボタン	説明
一時停止	HDD RAM DVD-R DVD-A DVD-V VCD CD	一時停止 [❚❚]	もう一度押すと再生に戻ります
早送り 早戻し（サーチ）		スロー/サーチ [◀◀ ▶▶]	押すたびに早くなります（5段階） ● 本体では[⏮◀◀/◀◀] [▶▶/▶▶⏭]を押したままにします。 ● [▶]（再生）で通常の再生に戻ります。 ● 早送り1速時のみ音声が出ます。音声は消すこともできます。（「早送り時の音声と1.3倍速再生」☞45ページ） DVDオーディオ（動画部以外）、CDではすべての速度で音が出ます。
スキップ		スキップ [⏮ ⏭]	押した回数だけ番組や曲を飛びこします ● 本体では[⏮◀◀/◀◀] [▶▶/▶▶⏭]を押します。
ダイレクト再生		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩/0	番組や曲の番号を入力して再生します －HDDやMP3を記録したCDは3ケタ（例：005、012） －DVDオーディオのグループは、停止中（右の画面表示中）1ケタ（例：5） －その他は2ケタ（例：05、12） ● 停止中（右の画面表示中）にのみ働くディスクもあります。 DVD VIDEO RAM

HDDやディスクを再生する(つづき)

再生中の便利な使い方（つづき）

機能	対応	ボタン	説明
早見再生（1.3倍速）	HDD RAM	再生/1.3倍速 ▶ 1秒押し続ける	通常より速く再生します もう一度押すと戻ります。 ●「早送り時の音声と1.3倍速再生」（☞45ページ）が「切」のときは働きません。
スロー再生	HDD RAM DVD-R DVD-A（動画部） DVD-V VCD	一時停止中 スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ ビデオCDはこちらのみ	押すたびに早くなります（5段階） ●本体では[⏮/◀◀] [▶▶/⏭]を押したままにします。 ●▶（再生）で通常の再生に戻ります。 ●スロー再生を連続して5分間続けると一時停止します。
コマ送り コマ戻し	HDD RAM DVD-R DVD-A（動画部） DVD-V VCD	一時停止中 ◀ 決定 ▶ ビデオCDはこちらのみ	押すたびに次のコマになります ●▶（再生）で通常の再生に戻ります。
子画面でテレビを見る	HDD RAM DVD-R	タイムワープ	子画面にテレビの受信映像を表示します ●もう一度押すと受信画面が消えます。 再生画面 受信画面 （[∧∨ チャンネル] でチャンネルの切り換えができます。） ●再生画面の音声が出ます。 ●録画中は子画面のチャンネル切り換えができません。 ●子画面はブルーバック（☞45ページ）にはなりません。
時間を指定して飛びこす（タイムワープ）	HDD RAM DVD-R	タイムワープ	指定した時間を飛びこします ●[▲▼]で飛びこす時間を設定し、[決定]を押す。
30秒スキップ	HDD RAM DVD-R	30秒スキップ	押すたびに約30秒先に飛びこします

ビデオ再生中の簡単な編集

機能	対応	ボタン	説明
消去	HDD RAM DVD-R	消去	番組などを消去します 実行するには[◀ ▶]で「消去」を選び、[決定]を押す ●一度消去すると元に戻せません。 ●録画中やダビング中は消去できません。
チャプターを作成する	HDD RAM	チャプター Ⓒ	押した位置でチャプターを区切ります （☞28ページ「タイトル／チャプターについて」） ●スキップ（☞21ページ）するとチャプターを飛びこします。 ●録画中やダビング中は作成できません。

音声を切り換える

押すたびに、放送の内容や収録されている内容によって切り換わります
（☞26ページ「音声情報／音声チャンネル」）
- 二重放送の番組では、自動的に「主」が選ばれます（2カ国語オート再生）。音声を切り換えても、電源を切ると「主」に戻ります。

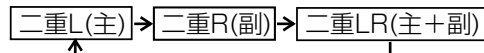
■放送受信時

例）二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主＋副)

■再生時

HDD RAM VCD

音声L → 音声R → 音声LR

- 二重放送を録画した場合は、主音声が "L" に、副音声が "R" に記録されています。

DVD-A DVD-V

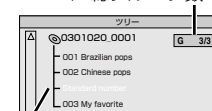
（☞26ページ「言語」）

お知らせ

次の場合、音声が切り換わりません。
－「DVD」選択中、ディスクトレイにDVD-Rが入っているとき
－ 録画モードが「XP」で、「記録音声モードの設定〔XP時〕」（☞45ページ）が「LPCM」になっているとき
－「DVD-R高速モード用録画」（☞44ページ）が「入」のとき

MP3を再生する CD （MP3のみ）

パソコンなどでMP3を記録し、ファイナライズ（☞46ページ）した音楽用CD-R、CD-RWが再生できます。

■グループを選ぶとき

MP3ファイルを含まないグループは選べません。

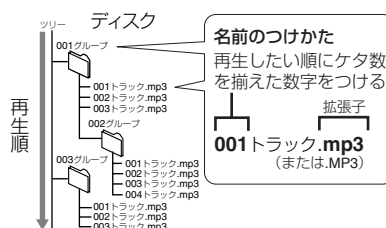
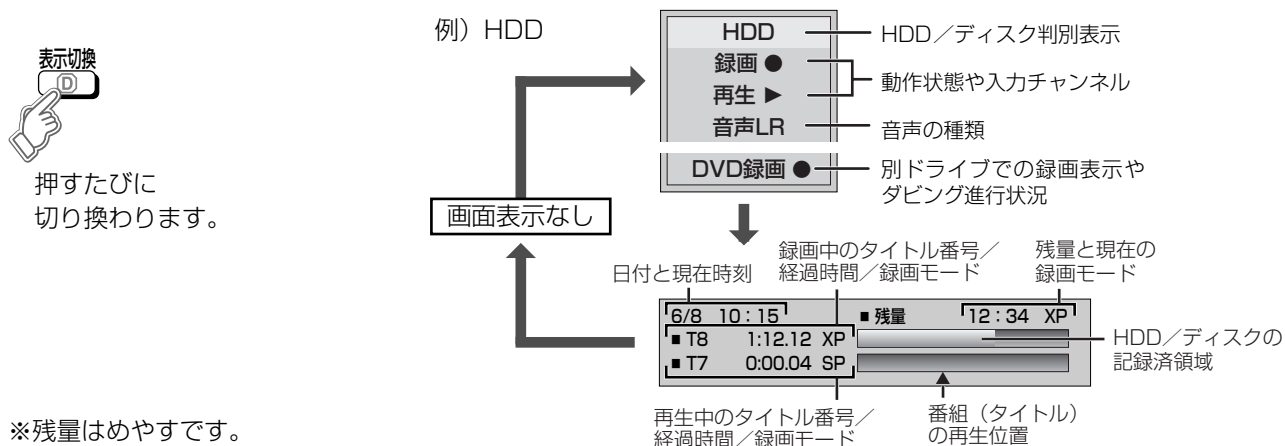
■前後のページを表示するには➡

[▲▼◀▶]で"前頁"、"次頁"を選んで 決定 を押す（グループごとに表示していきます。）

■メニュー画面を消すには➡ プログラムナビ/トップメニュー を押す

MP3について

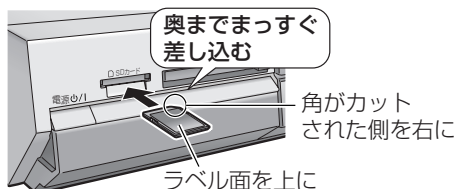
- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1とlevel 2（拡張フォーマットを除く）
- ビットレート：32kbps～320kbps
- サンプリング周波数：16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
- 最大99グループと最大999トラックが再生できます。
- マルチセッションに対応しています。

- ID3タグやパケットライト方式には対応していません。
- 記録状態によっては再生できないものがあります。
- 静止画やセッションが多いディスクは、読み込みや再生に時間がかかることがあります。
- 表示の順番は、パソコンの表示画面と違うことがあります。
- 再生したい順番を指定するには、右図のように名前をつける必要があります。

操作の状態を確認する 情報表示

カードを再生する

カードの出し入れ時は電源を切ってください。

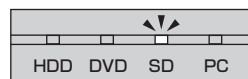
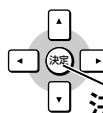
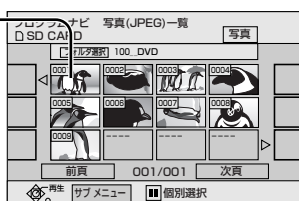
表示窓の"SD"や"PC"点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

SDカードに記録した写真を見る SD

1 電源「切」状態で SDカードを入れる

取り出すときは…

2 電源を入れ、

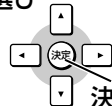
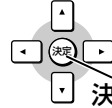
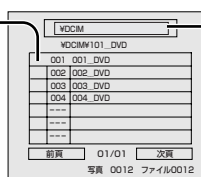
本体のSDランプが点灯

3

4 見たい写真を選び

■前後のページを表示するには➡
[▲▼◀▶]で"前頁"または"次頁"を選び 決定 を押す
([|◀◀、▶▶|]でもページの切り換えができます。)

■前後の写真を見るには➡ [◀▶] を押す

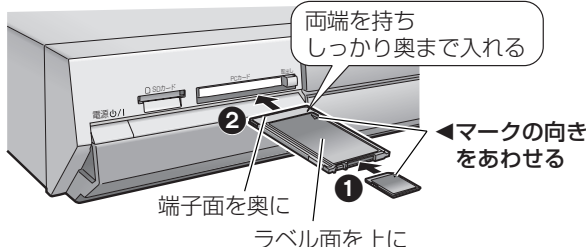
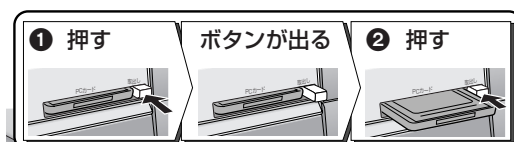
■停止するには➡ 停止 ■ を押す

■プログラムナビ画面を消すには➡ プログラムナビ トップメニュー を押す

■別のフォルダの写真を見るには
(本機で表示されるフォルダ構造☞46ページ)

上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合は、[◀▶]で切り換えができます。

メモリーカードに記録した写真を見る PC

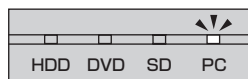
1 電源「切」状態で PCカードを入れる

- アダプターが必要なカードがあります。(☞7ページ)
- アダプターを使う場合はカードを直接押さないでください。

取り出すときは…

- アダプターを使う場合はアダプターごと取り出してください。

2 電源を入れ、

本体のPCランプが点灯

手順3～4は上記と同様です。

お知らせ 録画中は写真の再生はできません。

ブロードバンドレシーバー（別売：DY-NET2）を接続すると、HDDに「公開写真」フォルダが自動的に作成されます。詳しくは、サポートページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/bbr/)

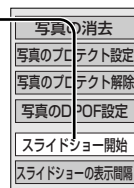
写真再生中の便利な使い方

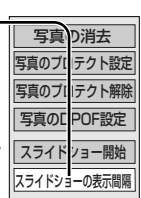
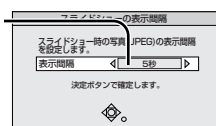
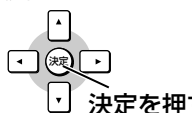
HDD RAM SD PC

連続再生する スライドショー

プログラムナビ画面表示中に

サブメニュー ➡ 「スライドショー開始」を選び 決定を押す

写真の消去 / 写真のプロテクト設定 / 写真のプロテクト解除 / 写真のDPOF設定 / スライドショー開始 / スライドショーの表示間隔

■表示間隔を変えるには

「スライドショーの表示間隔」を選び 決定を押す ➡ 表示間隔[0秒～30秒]を変更し 決定を押す

画像を回転する

回転したい写真が表示されたとき

サブメニュー ➡ 「右90゜回転」または「左90゜回転」を選び 決定を押す

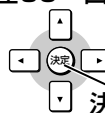
右90゜回転 / 左90゜回転

● 回転の情報は保存されません。

画像を拡大する（画素数の小さい写真のみ）

拡大したい写真が表示されたとき

サブメニュー ➡ 「拡大」を選び 決定を押す

右90゜回転 / 左90゜回転 / 拡大

● 元の大きさに戻すときは、左の手順で「縮小」を選びます。
● 拡大すると画像の一部が欠けることがあります。
● 拡大の情報は保存されません。

消去する

消去したい写真を表示して

消去 ➡ [◀▶]で「消去」を選び 決定 を押す

● 一度消去すると元に戻せません。

写真の情報を見る 情報表示

表示切換 2回押す

日付と現在時刻

6/8 10：15	フォルダー写真NO	102-0005
	作成日	2004/5/10
	枚数	5/15

■情報表示を消すには➡ 表示切換 を押す

写真（JPEG、TIFF）について

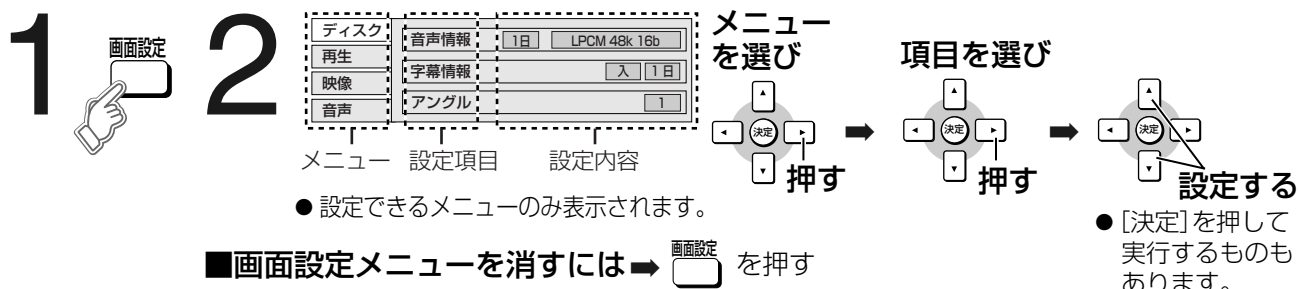
● 使用できるフォーマット：
DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)
DCF：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]
● ファイル形式：JPEG、TIFF[非圧縮RGB（点順次）方式]
● 画素数：34×34～6144×4096
（サブサンプリングは、4：2：2または4：2：0）
● 最大300フォルダ(上位フォルダ含む)と最大3000ファイルに対応しています。
● TIFF形式の写真を表示する場合や、ファイル数やフォルダ数が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
● MOTION JPEGには対応していません。

ディスクの再生方法を 設定する （画面設定一覧）

再生時に表示するディスク内の情報を切り換えたり、画質や音質を設定します。

● 設定できるメニューのみ表示されれます。

● [決定]を押して実行するものもあります。

■画面設定メニューを消すには ➡ 画面設定 を押す

ディスク独自の機能を設定する ディスク

音声情報※ DVD-A DVD-V
音声や言語を選びます。（音声属性／言語☞下記）
・HDD RAM DVD-R 音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-A DVD-V
字幕表示の入／切や、言語を選びます。（言語☞下記）
・HDD RAM DVD-R 入／切のみ（字幕の入／切情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません。）

音声チャンネル HDD RAM VCD
音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-A DVD-V
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
● スライドショー：決められた順番で再生
● ページ：静止画を選んで再生
　－ランダム：順不同に再生
　－リターン：決められた静止画を再生

PBC（プレイバックコントロール）（☞47ページ） VCD
PBC付きビデオCDで、メニューの入／切が確認できます。（変更はできません）

※ ディスクに収録されているメニュー画面（☞20ページ）でのみ切り換えできるものもあります。
● 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

お好みの再生方法を設定する 再生

リピート（経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。
● All：ディスク全体 VCD CD (MP3を除く)
● Title：タイトル全体 HDD RAM DVD-R DVD-V
● Chapter：チャプター HDD RAM DVD-R DVD-V
● PL：プレイリスト HDD RAM
● Group：グループ全体 DVD-A CD (MP3のみ)
● Track：トラック DVD-A VCD CD

自動CM早送り HDD RAM（音声が下記の場合のみ）
CMを飛ばして再生します。

番組	CM	番組
モノラル／二重	ステレオ	モノラル／二重
再生	スキップ	再生

・早見再生中（☞22ページ）は働きません。
・ビデオからのダビングなど、外部入力で録画した番組では働きません。
・電源を切ると「切」になります。

お好みの画質を設定する 映像

画質選択
映像ディスク再生時の画質を選びます。
● ノーマル：標準
● ソフト：ざらつきが少なく柔らかい画面
● ファイン：輪郭が強調されくっきりしている画面
● シネマ：映画鑑賞向け
● ユーザー：さらに画質を調整
　[◀] と [▲▼] で「詳細画質設定」を選び、[決定] を押す
　—コントラスト（白黒の強弱）
　—ブライトネス（画面全体の明るさ）
　—シャープネス（鮮やかさ）
　—カラー（色の濃さ）
　—ガンマ（暗くて見えにくい映像の輪郭）
　—3次元NR（画面全体のノイズを除去）
　—インテグレイティッドDNR（動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正）

MPEG-DNR
（画質選択が「ユーザー」以外の場合のみ）
ノイズや文字周りのもやの補正をします。

プログレッシブ（☞46ページ）
[「接続するTV」（☞準備編裏表紙）で「プログレッシブ(525P)対応」を選んだ場合のみ]
プログレッシブ出力を入／切します。
・映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード[「プログレッシブ」（☞上記）が「入」時のみ]
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
● Auto1(標準)：24コマ／秒のフィルム素材を自動判別
● Auto2：Auto1に加えて30コマ／秒のDVDビデオにも対応（ソフトによって映像にブレが生じることがあります。）
● Video：Auto1またはAuto2でブレが生じるとき

お好みの音声効果を設定する 音声

サラウンド（アドバンスドサラウンド）
HDD RAM DVD-R DVD-V
（ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ）
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
・音声がひずむときは、「切」にしてください。
・本機で録音した二重音声には働きません。

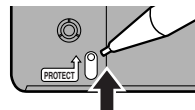
シネマボイス DVD-A DVD-V
（ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ）
セリフを聞き取りやすくします。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/DDDigital/DTS/MPEG：信号タイプ
ch：チャンネル数　k：サンプリング周波数（kHz）
b：ビット数（bit）

〈言語〉
● 日：日本語　● 英：英語　● 仏：フランス語　● 独：ドイツ語
● 伊：イタリア語　● 西：スペイン語　● 蘭：オランダ語　● 中：中国語
● 露：ロシア語　● 韓：韓国語　● ＊：その他

誤消去防止（プロテクト）を設定する

■ディスクやカード全体に設定する

● カートリッジ付DVD-RAMやカードの場合

設定すると、本体に入れたときに自動的に再生します。

SDカードなど

スイッチを「LOCK」側にする。

● カートリッジのないDVD-RAMの場合（☞下記）

■番組（タイトル）ごとに設定する（☞28ページの手順3で「プロテクト設定」を選ぶ）

■写真やフォルダごとに設定する（写真：☞32ページの手順3で「写真のプロテクト設定」を選ぶ）
（フォルダ：☞32ページの手順4で「フォルダのプロテクト設定」を選ぶ）

ディスク全体の誤消去防止の設定/解除 ディスクプロテクト RAM

準備：DVD を押して、DVDドライブを選ぶ

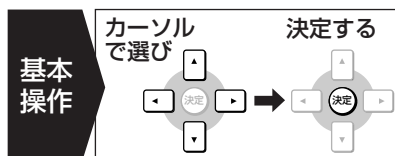
1 停止中に 機能選択 ➡ 「ディスク管理」を選び［決定］を押す

2 「ディスクプロテクト」を選び［決定］を押す

3 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び［決定］を押す

設定すると“🔒”が表示されます。

■画面を消すには➡ リターン（戻る）を数回押す

■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る）を押す

名前をつける

■ディスクに名前をつける（☞下記）

■録画した番組（タイトル）に名前をつける
（☞28ページ手順3で「タイトル名入力」を選ぶ）

■プレイリストに名前をつける
（☞31ページ手順3で「プレイリスト名入力」を選ぶ）

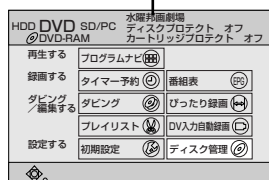
■写真のフォルダに名前をつける
（☞32ページ手順4で「フォルダ名入力」を選ぶ）

ディスク名をつけたいとき ディスク名入力 RAM DVD-R

上記手順2で「ディスク名入力」を選ぶ

⬇

「文字入力」（☞33ページ）

入力したディスク名は、［機能選択］を押すと表示されます。

DVD-Rのファイナライズ（☞43ページ）後はトップメニューに表示されます。

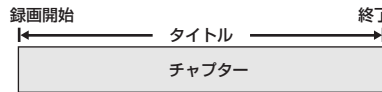
録画した番組（タイトル）を編集する

タイトル／チャプターについて

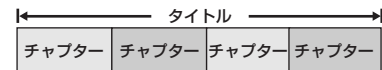
番組を録画すると1つのチャプターからなるタイトルとして記録されます。

録画開始 ── タイトル ── 終了

チャプター

⬇

HDD RAM 好みの位置で複数のチャプターに区切ることができます。（☞22、29ページ「チャプターを作成する」）

タイトル			
チャプター	チャプター	チャプター	チャプター

⬇

HDD RAM 好みのチャプターを集めてプレイリストを作成できます。（☞30ページ）

- 二重放送の番組のCM部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合もあります。
- DVD-Rでは、ファイナライズ（☞43ページ）すると自動的に約5分ごとのチャプターが作成されます。

最大記録数

HDD

タイトル：500

チャプター：1タイトルあたり約1000（記録状態によって変化します。）

RAM DVD-R

タイトル：99

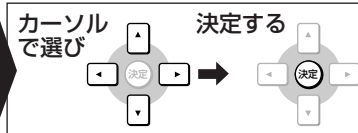
チャプター：約1000（記録状態によって変化します。）

■画面を消すには➡ プログラムナビ を押す

■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る）を押す

タイトルを編集する HDD RAM DVD-R

準備： ● HDD または DVD を押して、編集したい映像が入っているHDDまたはディスクを選ぶ

● ディスクやカートリッジの書き込み禁止（プロテクト）を解除しておく（☞27ページ） RAM

1 プログラムナビ ➡ 「ビデオ」を選び［決定］を押す

2 編集するタイトルを選び サブ メニュー

■前後のページを表示するには➡

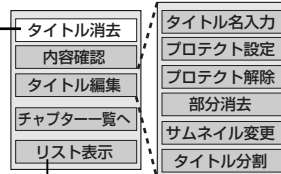
［▲▼◀▶］で“前頁”または“次頁”を選び 決定 を押す

（［⏮、⏭］でもページの切り換えができます。）

■まとめて編集するには➡

［▲▼◀▶］で選び 一時停止 （個別選択）を押す（くり返す）

● ☑ が表示されます。もう一度 一時停止 を押すと解除されます。

3 項目を選び［決定］を押す

（☞21ページ「表示方法を変更する」）

➡ “タイトル編集”を選んだ場合は

編集する項目を選び［決定］を押す

チャプターを再生 HDD RAM DVD-R／編集する HDD RAM

手順3で“チャプター一覧へ”を選び

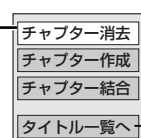
4 再生または編集するチャプターを選び

再生するときは 決定　編集するときは サブ メニュー

➡手順5へ

● 前後のページを表示する／まとめて編集するには（☞上記）

5 編集する項目を選び［決定］を押す

チャプター消去
チャプター作成
チャプター結合
タイトル一覧へ ── タイトル一覧に戻る

お知らせ

録画中、追っかけ再生（☞15ページ）中、ダビング中などは編集できません。

（プログラムナビ）／チャプターを再生・編集する

番組(タイトル)を消す
タイトル消去※

HDD　RAM　DVD-R

［◀▶］で「消去」を選び 決定 を押す
- **消去すると録画内容が消え、元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。
- DVD-Rでは、消去しても残量は増えません。

内容を確認
内容確認

- 録画日などが表示されます。

タイトル名を付ける
タイトル名入力

- 「文字入力」（☞ 33ページ）

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定※
プロテクト解除※

［◀▶］で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び 決定 を押す

- 設定すると“🔒”が表示されます。

プログラムナビ　タイトル一覧　HDD

CMなどの不要な部分を消す
部分消去

HDD　RAM

映像を見ながら消す部分の開始点と終了点で
決定を押す

インン点：開始点
アウト点：終了点

プログラムナビ　部分消去

➡［▲▼］で「終了」を選び 決定 を押す ➡［◀▶］で「消去」を選び 決定 を押す

- 続けて別の不要な部分を消去するときは「次へ」を選び［決定］を押す

タイトル一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する
サムネイル変更

HDD　RAM　DVD-R

▶（再生）を押して再生し、表示させたい場面で
「変更」を選び
決定を押す

➡［▲▼］で「終了」を選び 決定 を押す

1つの番組(タイトル)を2分割する
タイトル分割

HDD　RAM

分割する位置で
「分割」を選び

決定を押す

➡［▲▼］で「終了」を選び 決定 を押す ➡［◀▶］で「分割」を選び 決定 を押す

- **分割点の確認は**
  ［▲▼］で「プレビュー」を選び、決定 を押す
  （分割点の前後10秒を再生します。）
- **やりなおしたいとき**
  ①［▲▼］で「分割」をもう一度選ぶ
  ② ▶（再生）を押す
  ③ 分割したいところで 決定 を押す
- タイトル名や録画禁止の情報は、分割した番組（タイトル）の両方に反映されます。
- 分割した点の前後で映像や音声が一瞬途切れる場合があります。

※ 複数の番組（タイトル）をまとめて編集できます。

チャプターを消す
チャプター消去※

HDD　RAM

［◀▶］で「消去」を選び 決定 を押す
- **消去すると録画内容が消え、元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。

チャプターを作成する
チャプター作成

映像を見ながら区切りたい部分で
「作成」を選び
決定を押す

➡［▲▼］で「終了」を選び 決定 を押す

- くり返して複数の位置を指定できます。

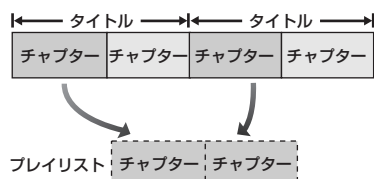
チャプターをつなぐ
チャプター結合

［◀▶］で「結合」を選び 決定 を押す
- 選んだチャプターと次のチャプターが1つのチャプターになります。

※ 複数のチャプターをまとめて編集できます。

編集中の便利な機能
- 早送りやタイムワープ、スロー再生など（☞ 21、22ページ）を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップでタイトルの終わりにも飛ぶことができます。

プレイリストを作成・再生・編集する

プレイリストとは…
チャプター作成（☞22、29ページ）で作成した好みのチャプターを集めて、再生したい順に並べたものです。

ダビング（☞34ページ）すると、ダビング先ではタイトルになります。

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスクの容量はほとんど使いません。
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元のタイトルやチャプターには影響しません。

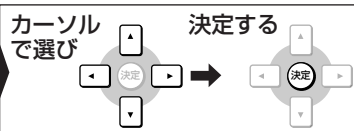
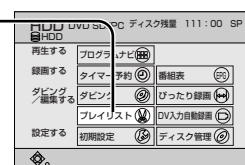
最大記録数
　プレイリスト：99
　プレイリストのチャプター：
　　約1000（記録状態によって変化します。）

■画面を消すには
➡ リターン（戻る）を数回押す

■前の画面に戻るには
➡ リターン（戻る）を押す

プレイリストを作成する HDD RAM

準備：
- HDD または DVD を押して、編集したい映像が入っているHDDまたはディスクを選ぶ
- ディスクやカートリッジの書き込み禁止（プロテクト）を解除しておく（☞27ページ） RAM

基本操作

1 停止中に 機能選択 ➡ 「プレイリスト」を選び［決定］を押す

2 「新規作成」を選び［決定］を押す

3 編集元タイトルを選び［▼］を押す

■タイトル内のチャプターを全て選ぶには
➡ 決定 を押す（➡手順5へ）

4 プレイリストに加えたいチャプターを選び［決定］を押す

- 編集元タイトルのチャプターを新たに作成することもできます。
  ➡［サブメニュー］を押して「チャプター作成」を表示させ、［決定］を押す（☞29ページ「チャプター作成」）

5 チャプターを挿入する位置を選び［決定］を押す

- ［▲］を押すとチャプターを選び直すことができます。

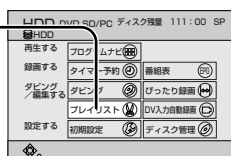
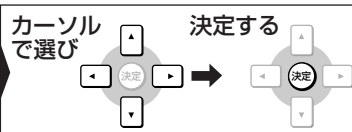
- 手順4、5をくり返して作成します。
  別のタイトルを選ぶときは、［▲］で編集元タイトルを選びます。

6 作成が終わったら

お知らせ

録画中やダビング中は、プレイリストの作成・編集はできません。

プレイリストを再生／編集する HDD RAM

1

「プレイリスト」を選び［決定］を押す

2

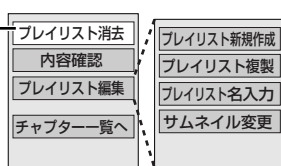
再生または編集するプレイリストを選び

再生するときは　編集するときは

➡手順3へ

● 前後のページを表示する／まとめて編集するには（☞28ページ）

3

項目を選び［決定］を押す

“プレイリスト編集” を選んだ場合は

編集する項目を選び［決定］を押す

項目	操作
プレイリスト消去※	［◀▶］で「消去」を選び 決定 を押す
内容確認	●作成日などが表示されます。
プレイリスト新規作成	（☞左ページ）
プレイリスト複製※	［◀▶］で「複製」を選び 決定 を押す
プレイリスト名入力	●「文字入力」（☞33ページ）
サムネイル変更	（操作方法は☞29ページ）

※ 複数のプレイリストをまとめて編集できます。

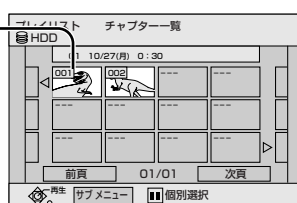
プレイリストのチャプターを再生／編集する HDD RAM

手順3で“チャプター一覧へ”を選び

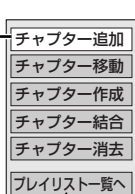
4

再生または編集するチャプターを選び

再生するときは　編集するときは

➡手順5へ

● 前後のページを表示する／まとめて編集するには（☞28ページ）

5

編集する項目を選び［決定］を押す

プレイリスト一覧に戻る

プレイリストのチャプターを編集しても、元のタイトルやチャプターには影響しません。

項目	操作
チャプター追加	（☞左ページ手順3へ）
チャプター移動	**移動先を選び［決定］を押す**
チャプター作成	（操作方法は☞29ページ）
チャプター結合	［◀▶］で「結合」を選び 決定 を押す ●選んだチャプターと次のチャプターが1つのチャプターになります。
チャプター消去※	［◀▶］で「消去」を選び 決定 を押す

※ 複数のチャプターをまとめて編集できます。

写真を編集する

準備：● HDD 、 DVD 、 SD/PC を押して、編集したい写真が入っているドライブを選ぶ
● ディスク、カートリッジ、カードの書き込み禁止（プロテクト）を解除しておく（☞27ページ）

1 プログラムナビ／トップメニュー ➡ HDD RAM 「写真」を選び［決定］を押す

2 編集したい写真を選び サブメニュー

● 前後のページを表示する／まとめて編集するには（☞28ページ）
● 別のフォルダの写真を選ぶには（☞24ページ）

3 編集する項目を選び［決定］を押す

写真の消去
写真のプロテクト設定
写真のプロテクト解除
写真のDPOF設定
スライドショー開始
スライドショーの表示間隔

☞25ページ「連続再生する」

■フォルダごと編集するには

左記手順1の後

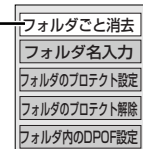
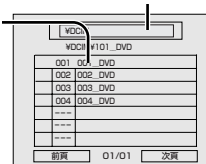
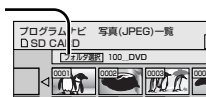
2 「フォルダ選択」を選び［決定］を押す

上位フォルダの切り換え（☞24ページ）

3 編集したいフォルダを選び サブメニュー

● 前後のページを表示する／まとめて編集するには（☞28ページ）

4 編集する項目を選び［決定］を押す

フォルダごと消去
フォルダ名入力
フォルダのプロテクト設定
フォルダのプロテクト解除
フォルダ内のDPOF設定

消去する

写真の消去※
フォルダごと消去※

HDD RAM SD PC

［◀▶］で「消去」を選び 決定 を押す
● **消去すると、元に戻すことはできません。** よく確認してから実行してください。
● フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。（フォルダ内の下位フォルダは除く。）

フォルダ名をつける

フォルダ名入力

「文字入力」（☞33ページ）
● 本機で入力したフォルダ名は、他の機器では表示されないことがあります。

誤消去防止の設定/解除

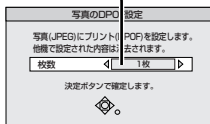
写真のプロテクト設定/解除※
フォルダのプロテクト設定/解除※

［◀▶］で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び 決定 を押す
● 設定すると“🔒”が表示されます。
● 本機でフォルダにプロテクトを設定していても、他の機器では消去されることがあります。

プリンタや写真店でプリントする枚数を設定する

写真のDPOF設定※
フォルダ内のDPOF設定※

SD PC

プリント枚数[0枚～9枚]を選び

決定を押す

DPOFマークが表示されます。
（「フォルダ内のDPOF設定」では設定したフォルダの中の写真に表示されます。）

設定を解除するには➡「0枚」に設定する
● 本機での設定は他の機器で見られない場合があります。
● 本機で設定すると、他の機器での設定は解除されます。
● 写真やフォルダがDCF規格(☞25ページ)でない場合やカードに残量がない場合は設定できません。

基本操作

カーソルで選び ➡ 決定する

■画面を消すには➡ プログラムナビ／トップメニュー を押す

■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る）を押す

※ 複数の写真やフォルダをまとめて編集できます。

文字入力

タイトル名／プレイリスト名／ディスク名／フォルダ名入力

録画した番組（タイトル）などに名前をつけることができます。

キーワード入力

番組表で検索するキーワードを入力します。

タイトル名などをつける／キーワードを入力する

1 入力画面を表示する

表示するには…

タイトル名(予約時) ☞16ページ手順3または18ページ手順2で「タイトル名入力」を選ぶ
タイトル名(録画後) ☞28ページ手順3で「タイトル名入力」を選ぶ
プレイリスト名 ☞31ページ手順3で「プレイリスト名入力」を選ぶ
ディスク名 ☞27ページ手順2で「ディスク名入力」を選ぶ
フォルダ名 ☞32ページ手順4で「フォルダ名入力」を選ぶ
番組表のキーワード ☞17ページ「キーワードで番組を探して予約する」

2 入力する文字の種類を選び

（カーソルまたは[I◀◀、▶▶I]で選び）

決定を押す

● 漢字を入力するときは、まずひらがなを入力します。

3 入力する文字を選び

決定を押す

■ひらがなを入力するとき

➡ [▶▶]（確定）を押す

■ひらがなを漢字変換するとき

➡1 再生/1.3倍速[▶]（変換）を押す

2 [▲▼] で変換候補を選び、(決定) を押す

■消去するとき➡ 一時停止[II]（消去）を押す

4 タイトル名などを入れ終わったら

停止[■]（終了）それぞれの画面に戻ります。

■途中で終わるには➡ リターン(戻る) を押す（文字は入力されません。）

入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
HDD RAM	タイトル名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名	36	18
RAM	ディスク名	64	32
DVD-R	タイトル名	44	22
	ディスク名	40	20
SD/PC	フォルダ名	36	18
番組表	キーワード	30	15

※予約録画時 半角英数：44文字
その他： 22文字

● すべての文字が表示されない画面もあります。

数字ボタン[1～10/0,12]で携帯電話のように文字入力ができます。

例）ひらがなの「す」を選ぶ

① [3]を押す(「さ」が選ばれます。)

② [3]を2回押し、(決定) を押す

録画した番組(ビデオ)をダビング(複製)する

本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。

ダビング方向が選べます

お気に入りの番組（タイトル）や編集したプレイリストをディスクにダビングして保存版に
- プレイリストをダビングするとダビング先では番組（タイトル）になります。

ファイナライズしたDVD-RをHDDにダビングして再編集

高速 / 高速 / 等速※

HDDへの録画時に「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしておく必要があります。（☞44ページ）

高速 / 等速※ / ファイナライズ / 等速※

ディスク
（ディスクの特長は☞6ページ）

DVD-RAM

DVD-R

他の機器（DVDプレーヤーなど）で再生したいとき
他の機器で再生するには、ファイナライズが必要です。（☞43ページ）

DVDビデオ

- ファイナライズしたDVD-R
- 著作権保護されていない市販ソフト

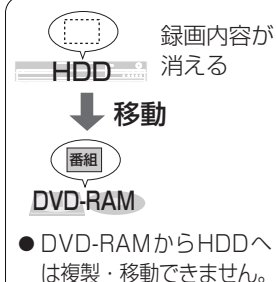
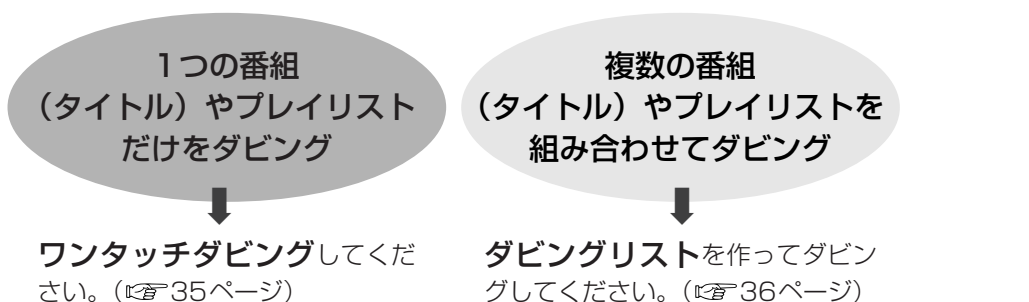
※画質［XP、SP、LP、EP、FR］を選んでダビングします。（☞13ページ「録画モード」）

デジタル放送のダビングについて
デジタル放送には、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられているため、複製できません。HDDからCPRM対応のDVD-RAMに移動のみできます。(HDDからは消去されます。)
（詳しくは☞8ページ）
- ワンタッチダビング（☞35ページ）では移動できません。ダビングリスト（☞36ページ）でダビングしてください。
- プロテクト（☞29ページ）が設定されていると移動できません。
- 「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはダビングできません。
- 移動される番組（タイトル）を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。

- DVD-RAMからHDDへは複製・移動できません。

ダビングのしかたが選べます

1つの番組（タイトル）やプレイリストだけをダビング
↓
ワンタッチダビングしてください。（☞35ページ）

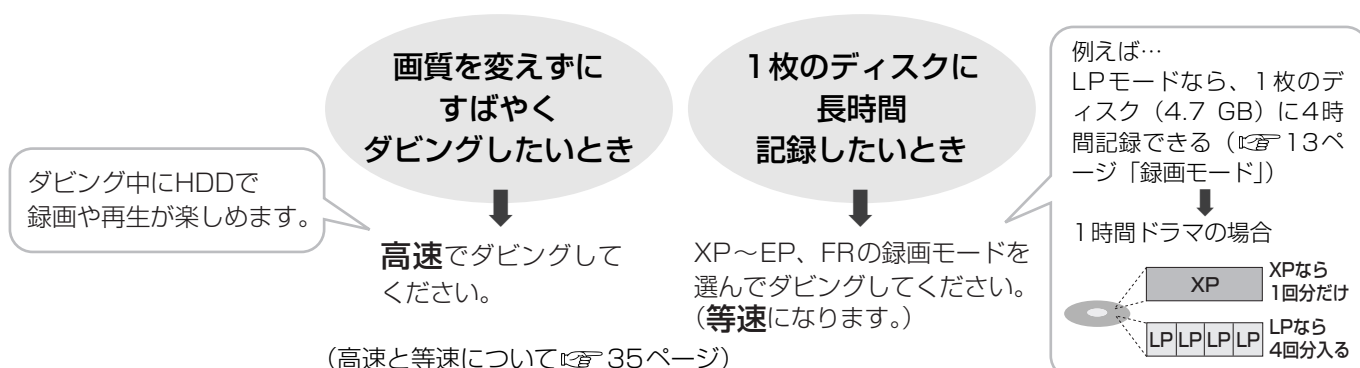
複数の番組（タイトル）やプレイリストを組み合わせてダビング
↓
ダビングリストを作ってダビングしてください。（☞36ページ）

ダビングリストではダビング速度・画質が選べます

画質を変えずにすばやくダビングしたいとき
↓
高速でダビングしてください。

ダビング中にHDDで録画や再生が楽しめます。

1枚のディスクに長時間記録したいとき
↓
XP～EP、FRの録画モードを選んでダビングしてください。（**等速**になります。）

例えば…
LPモードなら、1枚のディスク（4.7 GB）に4時間記録できる（☞13ページ「録画モード」）
↓
1時間ドラマの場合

（高速と等速について☞35ページ）

■ダビングを実行中に中止するには

➡ リターン(戻る) を3秒間押したままにする

中止すると、高速モードでは番組がダビングされません。高速モード以外では止めたところまでダビングされます。(DVD-Rは番組がダビングされなくても、書き込まれた分の残量が減少します。)

1つの番組(タイトル)またはプレイリストだけをダビング ワンタッチダビング

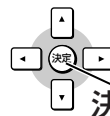
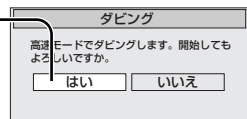
再生中にダビングボタンを押すだけ

HDD ⇒ RAM　HDD ⇒ DVD-R

二重放送をDVD-Rにダビングする場合は、「二重放送音声記録」(☞45ページ)で記録する音声を選択してください。

ダビングしたい番組(タイトル)やプレイリストを再生して

➡

「はい」を選び

決定を押す

高速モードでダビング中は、もう一度［決定］を押すと画面が消え、HDDでの録画や再生が楽しめます。

- ダビングの進行状況を確認するには
  ➡［表示切換］を押す

– ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
– ダビング中に実行された予約録画は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。

- ダビング速度・画質は下記のように設定されます。
  (以下のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は"FR"になります。)

HDD ⇒ RAM：高速

HDD ⇒ DVD-R：

DVD-R高速モード用録画(☞44ページ)	
「入」で録画	「切」で録画
高速	元と同じモード［XP～EP、FR］(プレイリストは"FR"でダビングされます。)

お知らせ

- 自動CM早送り(☞下記)は働きません。
- デジタル放送の番組(タイトル)やプレイリストはダビングできません。(☞34ページ)

■高速と等速について

	高速	等速(XP、SP、LP、EP、FR)
ダビングにかかる時間	☞下記、「高速でのダビング所要時間のめやす」	ダビング元の記録時間と同じ時間
画質	ダビング元の画質	変更できる ※1
チャプター／サムネイルの編集結果の保持	できる ※2	できない(1タイトルが1チャプターとして記録され、サムネイルは変更前の位置に戻ります。)
CMを飛ばす	できない	できる ※3
ダビング中の他の操作	HDDでの再生または録画ができる	できない

※1ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります。)

※2プレイリストをDVD-Rにダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。

※3**自動CM早送り**

–音声が下記の場合のみ働きます。

番組	CM	番組
モノラル／二重	ステレオ	モノラル／二重
再生	スキップ	再生

–5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
–番組内容をCMとまちがえて消してしまう場合があります。デジタル放送などの移動される番組(☞34ページ)では、元に戻すことができません。CMを「部分消去」(☞29ページ)で消してから、「切」でダビングすることをおすすめします。

- **高速でのダビング所要時間のめやす**(最高速時)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	3X高速記録対応DVD-RAM 所要時間	3X高速記録対応DVD-RAM スピード	4X高速記録対応DVD-R 所要時間	4X高速記録対応DVD-R スピード
XP	1時間	約20分	3倍速	約15分	4倍速
SP		約10分	6倍速	約7.5分	8倍速
LP		約5分	12倍速	約4分	16倍速
EP(6H)		約3.5分	18倍速	約2.5分	24倍速
EP(8H)		約2.5分	24倍速	約2分	32倍速

–ダビング中に録画や再生をすると、最高速にならないことがあります。
–ディスクの状態によって、最高速にならないことがあります。

お知らせ

DVD-Rへの高速モードダビングについて

HDDへの録画時に「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしたもののみ高速モードでダビングできます。ただし、下記の場合は高速モードではダビングできません。

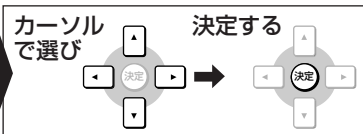
–録画モードが異なる番組(タイトル)から作ったプレイリスト
–録画モードがFRの複数の番組(タイトル)から作ったプレイリスト
–音声が混在するプレイリスト(Dolby DigitalとLPCMなど)
–部分消去を繰り返した番組(タイトル)

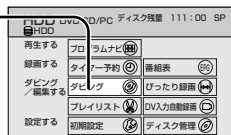
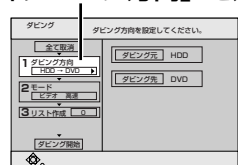
録画した番組（ビデオ）をダビング（複製）する（つづき）

複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビングする ダビングリスト HDD⇔RAM HDD⇒DVD-R

速度・画質を選んでダビング

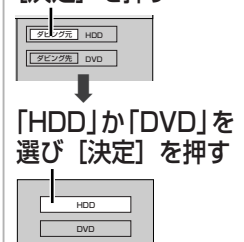
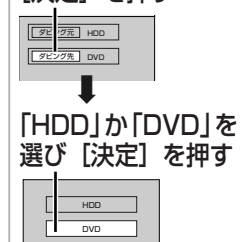
番組を好みの順に並べてダビング

基本操作

二重放送をダビングするとき、下記の場合には「二重放送音声記録」（☞45ページ）で記録する音声を選択してください。
－DVD-Rにダビングするとき
－XPモードでダビングし、「記録音声モードの設定〔XP時〕」（☞45ページ）が「LPCM」のとき

1 停止中に 機能選択 ➡ 「ダビング」を選び［決定］を押す

2 「ダビング方向」を選び

設定を変更せず、次の手順に進むときは［▼］を押す

設定を変更するときは［▶］（右カーソル）を押す

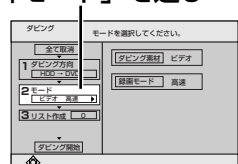
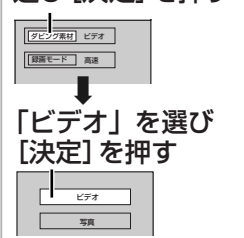
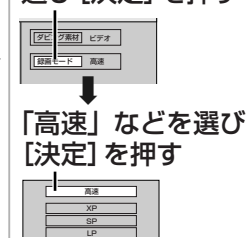
● ダビング元と先に同じドライブは選べません。

➡ 「ダビング元」を選び［決定］を押す ➡「HDD」か「DVD」を選び［決定］を押す

➡ 「ダビング先」を選び［決定］を押す ➡「HDD」か「DVD」を選び［決定］を押す

➡ ［◀］を押す

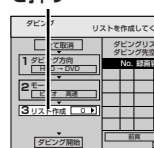
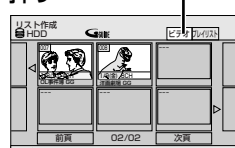
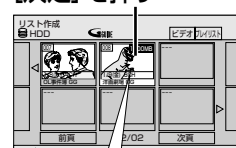
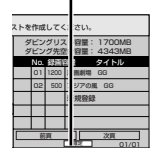
3 ダビング速度や画質を設定する

「モード」を選び

設定を変更せず、次の手順に進むときは［▼］を押す

設定を変更するときは［▶］（右カーソル）を押す

➡ 「ダビング素材」を選び［決定］を押す ➡「ビデオ」を選び［決定］を押す

➡ 「録画モード」を選び［決定］を押す ➡「高速」などを選び［決定］を押す

➡ ［◀］を押す

4 ダビングする番組（タイトル）やプレイリストを登録する

● DVD-Rに高速モードでダビングする場合は、▶▶◎ 表示のあるもののみ登録できます。

「リスト作成」を選び［▶］（右カーソル）を押す ➡ 「新規登録」を選び［決定］を押す ➡ ビデオかプレイリストの一覧を選び［決定］を押す ➡ ダビングする番組やプレイリストを選び［決定］を押す ➡ 「確定」を選び［決定］を押す

登録済みのリストを変更せず、次の手順に進むときは［▼］を押す

● 前後のページを表示するには（☞37ページ）
● リストの項目を消去・追加・移動するには（☞37ページ）
● まとめて消去するには（☞37ページ）

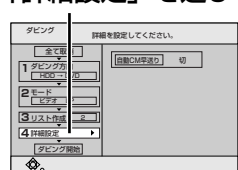
複数選ぶときは

一時停止 で ☑ をつけ［決定］を押す

（☞37ページ「まとめて登録するには」）

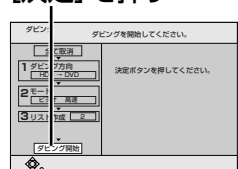
5 高速モード以外のみ

CMを飛ばすかどうかを設定する（☞35ページ「自動CM早送り」）

「詳細設定」を選び

設定を変更せず、次の手順に進むときは［▼］を押す

設定を変更するときは［▶］（右カーソル）を押す

➡ 「自動CM早送り」を選び［決定］を押す ➡ 「入」か「切」を選び［決定］を押す ➡ ［◀］を押す

6 「ダビング開始」を選び［決定］を押す

➡確認画面で はい を選び［決定］を押す

高速モードでダビング中は、もう一度［決定］を押すと画面が消え、HDDでの録画や再生が楽しめます。

● ダビングの進行状況を確認するには➡［表示切換］を押す

－ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
－ダビング中に実行された予約録画は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。
－デジタル放送などの「移動」される番組（☞34ページ）を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。

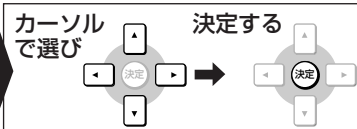
ファイナライズしたDVD-R（DVDビデオ）をダビングする

DVD-V ⇒ HDD

ファイナライズしたDVD-Rを再編集したいとき

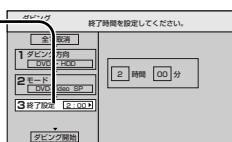
ディスクを再生しながら、再生している内容を設定した長さでHDDに録画します。

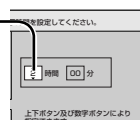
- **ダビング中に操作した動きや画面表示が、そのまま記録されます。**
- 市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。

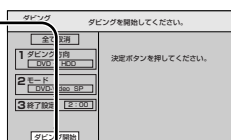
基本操作　カーソルで選び　決定する

36ページの手順1～3の後

4 ダビングする長さ（時間）を設定する

再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたいタイトルより数分程度長めに設定してください。

「終了設定」を選び[▶]（右カーソル）を押す

➡「時間」、「分」を選び[▲▼]で設定する

- 数字ボタンも使えます。

➡ [◀]を押す

5 「ダビング開始」を選び［決定］を押す

➡確認画面で はい を選び［決定］を押す

ディスクのトップメニューが表示されます。[「ファーストプレイ選択」（☞43ページ）で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まります。]

6 トップメニューが表示されたら

ダビングを始めたいタイトルを選び［決定］を押す

選んだタイトルから順に再生しながら、設定した時間まで録画します。（ディスクの最後のタイトルの再生が終わった後は、設定時間までトップメニュー画面を録画します。）

■手動でダビングを終了するには➡ 停止 [■] を押す

お知らせ

- 最初に右の画面が録画されます。
- ダビングの開始から終了までが1タイトルとして記録されます。
- 自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらない場合は [▶]（再生）を押してください。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。

■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る） を押す

■ダビングを実行中に中止するには➡ リターン（戻る） を3秒間押したままにする

中止すると、止めたところまで［高速モードの場合はダビングが完了した番組（タイトル）まで］ダビングされます。（DVD-Rは番組がダビングされなくても、書き込まれた分の残量が減少します。）

ダビングリストの便利な機能と画面表示

■前後のページを表示するには

➡[▲▼◀▶]で“前頁”または“次頁”を選び （決定） を押す

（[|◀◀、▶▶|]でもページの切り換えができます。）

■まとめて登録／消去するには

➡[▲▼◀▶]で選び 一時停止 [II]（個別選択）を押す（くり返す）

- ☑ が表示されます。もう一度 一時停止 [II] を押すと解除されます。
- ビデオとプレイリストの一覧を切り換えると ☑ が消えます。

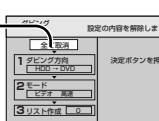
■リストの項目を消去・追加・移動するには

編集したい項目を選び［サブメニュー］を押す

編集したい内容を選び［決定］を押す

まとめて消去できます。（☞ 左記）

■モードなどの設定や登録されているリストを一度に取り消すことができます

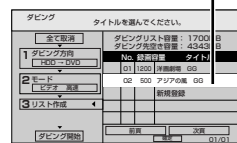
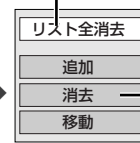
「全て取消」を選び［決定］を押す

➡確認画面で はい を選び［決定］を押す

- 設定やリストは以下の場合などにも取り消されることがあります。
  - ダビング元で番組や写真などの消去をした場合
  - 電源を切る、ディスクトレイを開ける、ダビング方向を変えるなどを行った場合

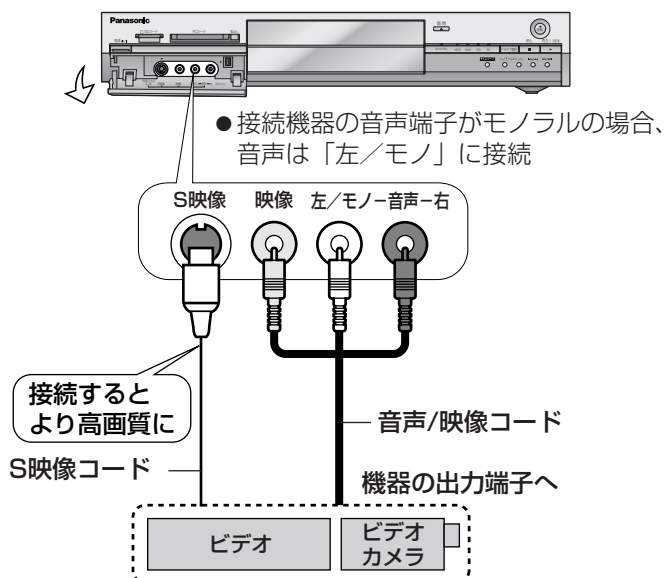
■リストの表示について

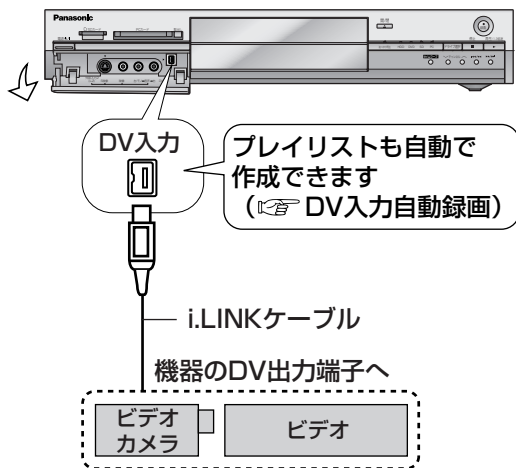
- ▶▶◎：DVD-Rに高速でダビングできるもの（☞35ページ）
- (!)：静止画を含むもの（静止画部分はダビングされません。）
- ⇨：「1回だけ録画可能」のため「移動」されるもの（☞8、34ページ）
- ☒：「1回だけ録画可能」のもの（☞8、34ページ）

ダビングリスト容量：ダビング先に記録される容量

- 等速の場合は、録画モードによって変化します。
- 高速の場合は、録画容量の合計になります。（HDDにダビングする場合は、管理情報が含まれるため、合計より大きくなります。）

ビデオやビデオカメラからダビングする

外部入力（L1、L2、L3）に接続する場合

例）外部入力2（L2）とつなぐ

DV入力に接続する場合

接続時には、本機とビデオカメラなどの電源を切ってください。

- 記録する音声の種類を「DV入力時の音声の設定」（☞45ページ）で選べます。
- DV入力経由で本機に接続できるDV機器(ビデオカメラなど)は1台のみです。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- 本機のDV入力はDV機器専用です。（パソコンなどとは接続できません。）
- DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。
- DV機器によっては、映像や音声が正しく入力されない場合があります。

ビデオやビデオカメラからダビングする HDD RAM DVD-R

準備：● 本体の外部入力（L1、L2、L3、DVのいずれか）に機器を接続し、HDD または DVD を押して録画先を選ぶ

● 二重放送を録画するときは、
HDD RAM：接続した機器側で「主＋副」を選ぶと、再生時に音声が選べます。
DVD-R：接続した機器側で「主」または「副」を選んでください（再生時に音声は選べません）。

1 DVD入力 **接続した端子に合わせて選ぶ**
（例：外部入力1に接続した場合は「L1」を選ぶ）

2 録画モード **録画モードを選ぶ**

3 **接続した機器で再生を始める**

4 録画 録画が始まります。

市販のビデオやDVDのソフトのほとんどは、録画禁止処理がされており、録画できません。

■不要な場面をとばすには
➡ 一時停止 を押す　もう一度押すと、録画を再開します。

■録画を止めるには➡ 停止 を押す

■ディスクの残量に合わせて録画するには
➡ぴったり録画（☞ 14ページ）

DV出力端子付きのビデオやビデオカメラからダビングする
DV入力自動録画 HDD RAM

プレイリストを自動で作成できます

番組（タイトル）としてダビングされると同時に、映像の切れ目をチャプターの切れ目として、プレイリスト（☞30ページ）が自動作成されます。

準備：①本機とビデオカメラなどの電源を入れ、録画したい映像の先頭でビデオカメラなどを一時停止しておく
②HDD または DVD を押して録画先を選ぶ

1 **停止中に** 機能選択

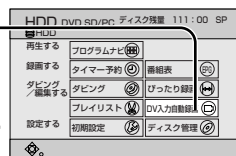
2 **「DV入力自動録画」を選び**

決定を押す

3 録画モード **録画モードを選ぶ**

4 **「録画開始」を選び**

決定を押す

DV入力自動録画
DV機器 Panasonic NV-○○○
残量 66：40(SP)
録画開始　キャンセル

DV入力自動録画がうまく働かない場合は、接続とDV機器の設定を確かめ、電源を入れなおしてください。
それでも働かない場合は、「ビデオやビデオカメラからダビングする」（☞上記）を行ってください。
DV機器との互換性については、当社ホームページ（☞表紙）をご覧ください。

■録画を止めるには➡ 停止 を押す

お知らせ
● 日付や時刻情報は記録されません。
● 録画中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。

● 録画が最後まで完了すると、終了を知らせる画面が表示されます。 を押してください。

残す

ビデオやビデオカメラからダビングする

写真を複製（ダビング）する

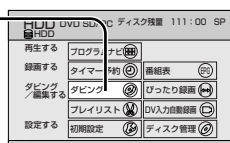
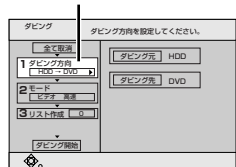
カードの写真を選んで複製する／HDDやDVD-RAMに保存した写真をカードに複製する HDD RAM SD PC

1

停止中に 機能選択

➡ 「ダビング」を選び［決定］を押す

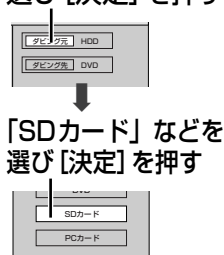
基本操作 カーソルで選び ➡ 決定する

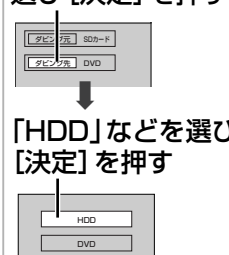
2

「ダビング方向」を選び

設定を変更せず、次の手順に進むときは ときは[▼]を押す

設定を変更するときは[▶]（右カーソル）を押す

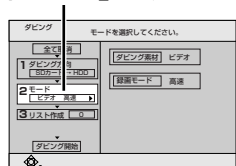
● ダビング元と先に同じドライブが選べます。

➡ 「ダビング元」を選び［決定］を押す

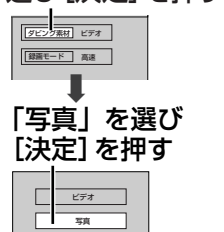
「SDカード」などを選び［決定］を押す

➡ 「ダビング先」を選び［決定］を押す

「HDD」などを選び［決定］を押す

➡ [◀]を押す

3

「モード」を選び

設定を変更せず、次の手順に進むときは ときは[▼]を押す

設定を変更するときは[▶]（右カーソル）を押す

➡ 「ダビング素材」を選び［決定］を押す

「写真」を選び［決定］を押す

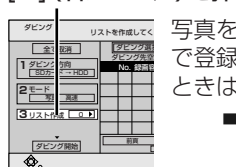
➡ [◀]を押す

● 「録画モード」は自動的に「高速」になります。

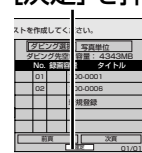
4

複製（ダビング）する写真やフォルダを登録する

「リスト作成」を選び[▶]（右カーソル）を押す

登録済みのリストを変更せず、次の手順に進むときは[▼]を押す

写真を選んで登録するときは ➡

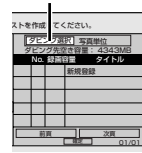
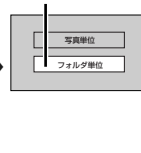
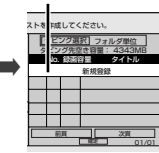
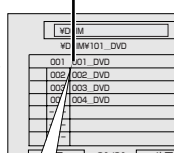
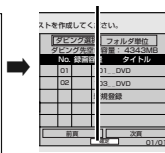
「新規登録」を選び［決定］を押す

➡ 複製する写真を選び［決定］を押す

➡ 「確定」を選び［決定］を押す

● 前後のページを表示するには（☞41ページ）
● 別のフォルダの写真を選ぶには（☞41ページ）
● リストの項目を消去・追加するには（☞41ページ）
● まとめて消去するには（☞41ページ）

複数選ぶときは
一時停止 で ☑ をつけ［決定］を押す
（☞41ページ「まとめて登録するには」）

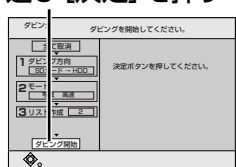
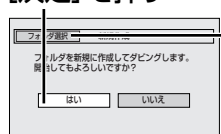
フォルダごと登録するときは ➡

「ダビング選択」を選び［決定］を押す

➡ 「フォルダ単位」を選び［決定］を押す

➡ 「新規登録」を選び［決定］を押す

➡ 複製したいフォルダを選び［決定］を押す ➡ 「確定」を選び［決定］を押す

● 写真とフォルダを同じリストに登録することはできません。

● 前後のページを表示するには（☞41ページ）
● 上位フォルダを切り換えるには（☞41ページ）
● リストの項目を消去・追加するには（☞41ページ）
● まとめて消去するには（☞41ページ）

複数選ぶときは
一時停止 で ☑ をつけ［決定］を押す
（☞41ページ「まとめて登録するには」）

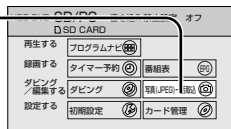
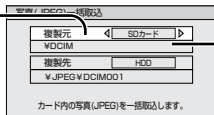
5

「ダビング開始」を選び［決定］を押す

➡ 「はい」を選び［決定］を押す

写真単位の場合のみ
別のフォルダを複製先に指定するときは選ぶ（☞41ページ）

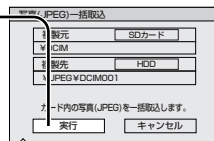
カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMに複製する 写真(JPEG)一括取込

SD や PC ⇒ HDD や RAM

準備: SD/PC を押して、複製したいカードが入っているドライブを選ぶ

1 停止中に 機能選択 ➡ 「写真（JPEG）一括取込」を選び［決定］を押す

2 「複製元」を選び［◀▶］で設定する

上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合は、［◀▶］で切り換えができます。

3 「複製先」を選び［◀▶］で設定する

4 「実行」を選び［決定］を押す

■前の画面に戻るには➡ 戻る を押す

■ダビングを実行中に中止するには➡ 戻る を3秒間押したままにする

ダビングリストの便利な機能

■前後のページを表示するには

➡［▲▼◀▶］で"前頁"または"次頁"を選び 決定 を押す
（［|◀◀、▶▶|］でもページの切り換えができます。）

■まとめて登録／消去するには

➡［▲▼◀▶］で選び 一時停止（個別選択）を押す（くり返す）

● ☑ が表示されます。もう一度 一時停止 を押すと解除されます。

■リストの項目を消去・追加するには

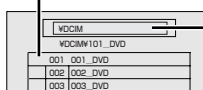
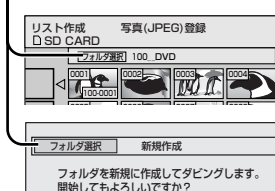
編集したい項目を選び［サブメニュー］を押す

編集したい内容を選び［決定］を押す

まとめて消去できます。（☞ 左記）

■別のフォルダの写真を選ぶ／別のフォルダを複製先に指定する／上位フォルダを切り換えるには

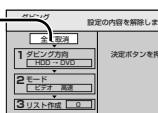
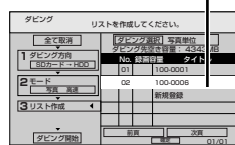
「フォルダ選択」を選び［決定］を押す

フォルダを選び［決定］を押す

（複製元の選択時のみ）
上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合は、［◀▶］で切り換えができます。（上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。）

● 別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

■モードなどの設定や登録されているリストを一度に取り消すことができます

「全て取消」を選び［決定］を押す

➡確認画面で はい を選び［決定］を押す

● 設定やリストは以下の場合などにも取り消されることがあります。
– ダビング元で写真やフォルダの記録や消去をした場合
– 電源を切る、カードを取り出す、ディスクトレイを開ける、ダビング方向を変えるなどを行った場合

お知らせ

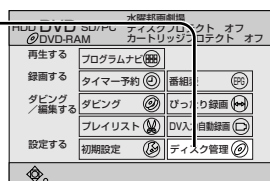
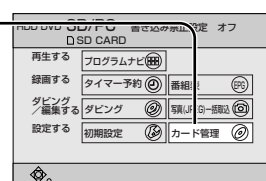
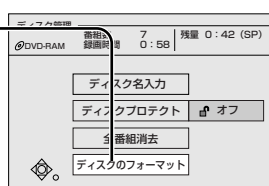
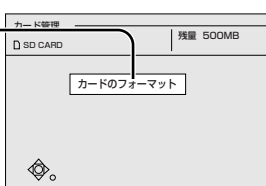
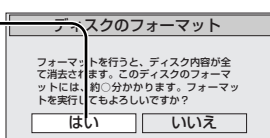
● フォルダやカードごと複製する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも複製されます（フォルダ内の下位フォルダは除く）。
● 複製先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
● 複製先の容量や、ファイルやフォルダの数（☞25ページ）がいっぱいになった場合は、途中で複製を中止します。
● 複製先のフォルダ名が入力されていない場合、複製元のフォルダ名が反映されます。
● プリント枚数の設定（DPOF）は複製されません。
● ダビングリストへの登録順は、複製先に反映されないことがあります。

ディスクやカードの内容をすべて消去する／ディスクやカードを初期化する（フォーマット）

HDD RAM SD PC

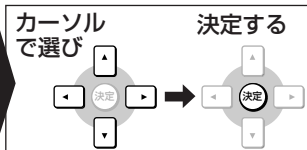
準備：● HDD 、DVD 、SD/PC を押して、編集したいドライブを選ぶ

●カートリッジやカードの書き込み禁止（プロテクト）を解除しておく（☞27ページ）

1 停止中に 機能選択 ➡ 「ディスク管理」を選び［決定］を押す

または 「カード管理」を選び［決定］を押す

2 「ディスクのフォーマット」または「HDDのフォーマット」を選び［決定］を押す

または 「カードのフォーマット」を選び［決定］を押す

3 「はい」を選び［決定］を押す

➡確認画面で 実行 を選び［決定］を押す

お知らせ

- **実行すると、パソコンのデータなどを含め、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください**（フォーマットではプロテクトを設定していても消去されます）。
- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。**ディスクやカードが使えなくなることがあります。（通常は数分、DVD-RAMでは最大約70分かかります。）

- フォーマットを中止するには➡ ［戻る、リターン］を押す
  （フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットが必要です。）
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- DVD-RやCD-R／RWはフォーマットできません。
- マイクロドライブやモバイルハードディスクはフォーマットできません。

番組（タイトル）やプレイリストをすべて消去する（全番組消去）

HDD RAM

準備：ディスク、カートリッジ、タイトルの書き込み禁止（プロテクト）を解除しておく（☞27、29ページ）

上記手順2で「全番組消去」を選ぶ

■画面を消すには
➡ リターン 戻る を数回押す

■前の画面に戻るには
➡ リターン 戻る を押す

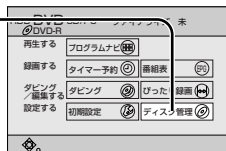
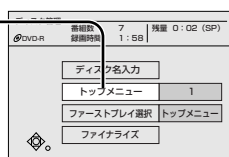
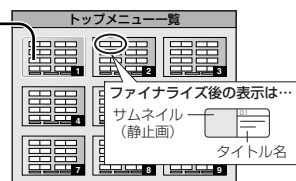
お知らせ

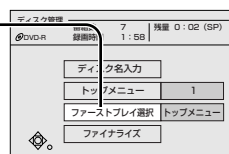
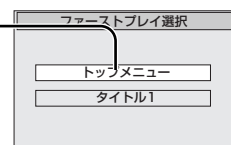
- **実行すると、元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。
- 写真（JPEG、TIFF）やパソコンのデータは消去されません。
- プロテクトを設定した番組（タイトル）がある場合は、働きません。

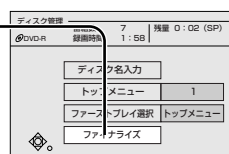
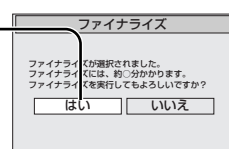
DVD-Rを他の機器で再生できるようにする
（ファイナライズ）

DVD-R

準備：[DVD]を押して、DVDドライブを選ぶ

1 停止中に 機能選択 ➡ 「ディスク管理」を選び［決定］を押す

2 「トップメニュー」を選び［決定］を押す

➡ お好みの背景を選び［決定］を押す

- ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。
- トップメニューに表示される画像は変更できます。（☞29ページ「サムネイル変更」）

3 「ファーストプレイ選択」を選び［決定］を押す

➡ 「トップメニュー」または「タイトル1」を選び［決定］を押す

- ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。
  トップメニュー：メニュー画面を表示する
  タイトル1　　：ディスクの先頭から再生する

4 「ファイナライズ」を選び［決定］を押す

➡ 「はい」を選び［決定］を押す

➡確認画面で［実行］を選び［決定］を押す

お知らせ

DVD-Rをファイナライズすると…

－再生専用となり、録画や編集はできなくなります。

－高速モードでダビングした番組（タイトル）では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。

－DVD-Rに直接録画した番組（タイトル）や、高速モード以外でダビングした番組（タイトル）では、約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。（実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します。）

－番組（タイトル）やチャプターのつなぎ目で数秒間静止するようになります。

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなります。（最大約15分かかります。）

- 当社製以外の機器で録画したDVD-Rはファイナライズできません。
- 本機以外の当社製機器で録画したDVD-Rをファイナライズすると、トップメニューで選んだ背景にならない場合があります。

	ファイナライズ 前	ファイナライズ 後
本機でのディスク表示	DVD-R	DVD-V
録画・編集／タイトル名入力	○	×
他のプレーヤーで再生	×	○

本機でファイナライズされたDVD-Rは、記録状態により他のプレーヤーでは再生できない場合があります。
DVD関連情報は当社ホームページでご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/

初期設定を変える （初期設定一覧）

初期設定一覧をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は電源を切っても保持されます。

例）「自動電源［切］」の設定を
　　変える場合

停止中に
機能選択

「初期設定」を選び
［決定］を押す

メニューを
選び［▶］
を押す

設定項目を
選び［決定］
を押す

設定内容を選び
［決定］を押す

自動電源［切］の設定
2H
6H
切

■設定を終了するには➡ リターン（戻る） を数回押す

■前の画面に戻るには➡ リターン（戻る） を押す

メニュー	設定項目	設定内容　（下線部はお買い上げ時の設定です。）
チャンネル	**市外局番チャンネル設定**（☞準備編8ページ）	市外局番入力
	マニュアルチャンネル設定（☞準備編14ページ）	● CH　● 表示　● 放送局名　● 微調整
	番組表設定（☞準備編15ページ）	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域（☞準備編15ページ）	お住まいの地域を設定します。
	ホスト局（☞準備編15ページ）	番組表データの送信局を設定します。
	データ受信時刻 **通常は変更しないでください。**	→**[決定]**を押し、確認画面で「設定」を選んで **[決定]**を押し、さらに設定します。 ● 自動 ● 時／分（[取消し]を押した場合やデータ受信後は、「自動」にもどります。） お買い上げ時は「番組表データ送信時刻」（☞準備編9ページ）の通りに設定されています。表のいずれの時刻にも受信できない場合は、放送局が送信時刻を変更した可能性があります。(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページ（http://www.ipg.co.jp/）で最新の送信時刻を確認し、設定してください。いったんデータを受信すると、受信時刻が自動的に設定されるため、以降は変更の必要はありません。
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	● 2H　● 6H　● 切
	リモコンモード（☞11ページ）	● リモコン1　● リモコン2　● リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて設定します。（☞47ページ「S映像出力」）	● S1（「S」や「S1」のとき）　● S1/S2　● 切（S映像入力に接続しないとき）
	時刻合わせ（☞11ページ）	●（年／月／日／時／分）　● 自動時刻チャンネル
	設定の初期化 初期設定をお買い上げ時の設定に戻します。（チャンネルの設定、時刻と視聴制限は除く）	● する　● しない
ディスク	**言語**	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	音声言語 　DVDビデオ再生時の音声が選べます。	● 日本語　● 英語　● オリジナル（ディスクの最優先言語で再生） ● その他＊＊＊＊ （**＊には数字ボタンで言語番号（☞48ページ）を入力** 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面（☞20ページ）でのみ切り換えできるものもあります。）
	字幕言語 　DVDビデオ再生時の字幕言語が選べます。	● オート：“音声言語”で選んだ言語で再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示 ● 日本語　● 英語　● その他＊＊＊＊
	メニュー言語 　画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● 英語　● その他＊＊＊＊
	視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4ケタ）を入力してください **暗証番号は忘れないでください。**	● レベル8　：すべてのディスクが視聴可 ● レベル7～1：制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ● レベル0　：すべてのディスクが視聴不可 ● ロック解除　● 暗証番号変更　● レベル変更　● 一時解除
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間が選べます。（☞13ページ「録画モード」）	● EP (6H)：4.7 GBディスクに6時間記録 ● EP (8H)：4.7 GBディスクに8時間記録
	DVD-AudioのVideoモード再生 DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	● 入（電源「切」または 開/閉 で「切」に戻ります。） ● 切
	DVD-R高速モード用録画 HDDからDVD-Rに高速モードでダビングするには、HDDへの録画前に設定を「入」にしてください。画面サイズなど（☞右記）が制限されるため、DVD-Rにダビングする録画以外の場合は、「切」にすることをおすすめします。	● 入：高速モード対応にする→**[決定]**を押して、さらに「はい」を選びます。　● 切 ［ダビングリスト（☞36ページ）に“ ”が表示］ －画面サイズは4:3、ハイブリッドVBR設定（☞45ページ）は「ノーマル」になります。 －二重放送の音声は「二重放送音声記録」（☞45ページ）であらかじめ選んでください。

メニュー	設定項目	設定内容 （下線部はお買い上げ時の設定です。）
映像	3次元Y／C	●入：受信映像の細かい模様のズレを抑える ●切：残像現象を軽減する
	ハイブリッドVBR （☞47ページ「VBR」）	●アドバンス：解像度を自動で切り換え、ブロック状ノイズを軽減してVBR方式で記録する HDD RAM ●ノーマル：解像度を固定し、素材の解像度を落とさずVBR方式で記録する
	スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 （☞46ページ「フレーム／フィールド」）	●オート ●フィールド：動きのある映像や"オート"時にブレが生じるとき ●フレーム："オート"時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生する状態が選べます。	●入：なめらかに再生（早見再生の音声やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。） ●切：精度良く再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります。）
	外部入力NR テープからのダビング時に、ノイズを減らして高画質で記録します。	●自動：テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行う ●入：テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行いたいとき ●切：映像処理を行わず、入力信号のまま記録したいとき ［「入」や「自動」で映像処理を行っているときは、3次元Y／C（☞上記）は働きません。］
音声	早送り時の音声と1.3倍速再生	●入：早送り1速時に音声が聞こえる ●切：聞こえない［早見再生（☞22ページ）はできません。］ 設定にかかわらず音声が聞こえるディスクがあります。
	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●入：（ドルビーデジタルのみ働きます） ●切
	二重放送音声記録 二重放送の音声を選びます。 ●DVD-Rに録画／ダビングする場合 ●LPCMで録画／ダビングする場合	●主音声 ●副音声 （ビデオからのダビングなど、外部入力からDVD-Rに録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。）
	デジタル出力	→［決定］を押して、さらに設定します。
	PCM ダウンサンプリング変換 サンプリング周波数 96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(入)かしない(切)かを選べます。	●入：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続するとき ●切：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続するとき （176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは、44.1 kHzに変換されます。）
	Dolby Digital ドルビーデジタルの信号を、接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、"PCM(2ch)"で出力するかを設定します。	●Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続するとき ●PCM：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続するとき 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 DOLBY DIGITAL ドルビーデジタル
	DTS DTSの信号を、接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、"PCM(2ch)"で出力するかを設定します。	●Bitstream：DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続するとき ●PCM：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続するとき DIGITAL dts SURROUND DTSデジタルサラウンド
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。(XPでの録画時やダビング時に働きます。)	●Dolby Digital（☞46ページ） ●LPCM（☞47ページ）： －画質は少し下がります。 －XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 －二重放送の音声は「二重放送音声記録」（☞上記）であらかじめ選んでください。
	DV入力時の音声の設定 DV入力端子（☞38ページ）から録音する音声の種類を選べます。	●ステレオ1：DV録画時の音声（L1、R1）を録音するとき ●ステレオ2：編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）を録音するとき ●MIX：ステレオ1とステレオ2の音声を録音するとき ［二重放送をDVD-Rに録画またはLPCMで録画する場合は、「二重放送音声記録」（☞上記）で音声をあらかじめ選んでください。］
画面設定	オンスクリーン表示〔オート〕 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	●入 ●切（表示しない）
	ブルーバック 受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	●入 ●切（表示しない）
	FLディマー 表示窓の明るさを調節します。「オート」にすると、電源「切」時の消費電力が約0.7 Wになります。	●常時 明 ●常時 暗 ●オート：再生中は暗くなり、電源「切」時は全て消灯、ボタン操作時に一時的に明るくなります。
接続	接続するTV（☞準備編裏表紙）	●4：3 インターレース(525I) ●4：3 プログレッシブ(525P)対応 ●16：9 インターレース(525I) ●16：9 プログレッシブ(525P)対応
	TVアスペクト(4：3)設定 4：3テレビでの、16：9映像の映し方を選べます。 — DVD-Video	●パン&スキャン：左右の切れた映像（パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。） ●レターボックス：上下に帯のある映像
	TVアスペクト(4：3)設定 — DVD-RAM	●スルー：録画された映像の縦横比 ●パン&スキャン：左右の切れた映像 ●レターボックス：上下に帯のある映像

便利機能 初期設定を変える

用語解説

サ　サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

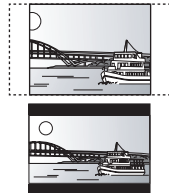
タ　ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を2チャンネルに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。ダウンミックスが禁止されたディスクは、本機ではフロントの2チャンネルのみが再生されます。

ドライブ
本機では、ハードディスク（HDD）、ディスク（DVD）、SDカード（SD）、PCカード（PC）のことです。データの読み書きを行います。

ハ　パン＆スキャン／レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16：9）を前提に制作されているため、横縦比が4：3のテレビ画面に映し出そうとすると、画面におさまらなくなります。4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

パン＆スキャン：
映像の左右をカットして、
画面全体に映し出します。

レターボックス：
画面の上下に黒い帯を入れて、
4：3の画面で16：9の映像を
再現します。

ファイナライズ
録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-Rのファイナライズが可能です。
ファイナライズすると再生専用ディスクとなり、録画や編集ができなくなります。

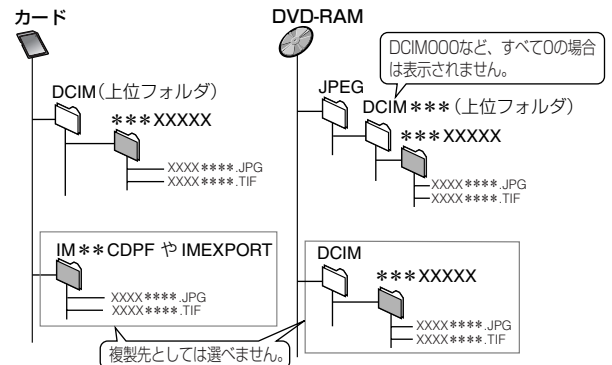
フィルム素材／ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ／秒または30コマ／秒で記録されているもの（映画撮影のフィルムは24コマ／秒で記録されています。）
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド／秒で記録されているもの

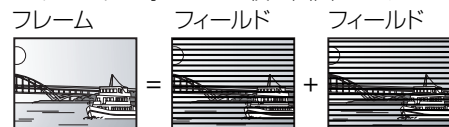
フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理すること。初期化ともいいます。本機ではHDD、DVD-RAM、SDカード、PCカードのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

フォルダ
ハードディスクやメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG、TIFF）の保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

：表示されるフォルダ　＊：数字　X：半角文字

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム／フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プログレッシブ／インターレース
従来の映像信号（NTSC）は525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。
プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

B　Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーにより、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C　CPRM（シーピーアールエム）(Content Protection for Recordable Media)（コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア）
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクでのみ録画できます。

D　D1/D2映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2チャンネル）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で録画すると、通常はドルビーデジタル（2チャンネル）で記録されます。

DPOF（Digital Print Order Format）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンタでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ＤＴＳ（Digital Theater Systems）
多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E

ＥＰＧ（Electronic Program Guide）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表を使って予約録画などができます。

H

HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の一つです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I

Ｉｒ システム
チューナーなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作する機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムが、DVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

J

JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L

ＬＰＣＭ（リニアPCM）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。本機では、XPモードで録画するときに選べます。

M

ＭＰ３（MPEG Audio Layer 3）
元の音質をあまり損なうことなく情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

P

ＰＢＣ（Playback control）
ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。（本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。）

S

S映像出力
映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類にあわせて、信号が出力できます。

■S1映像信号
４：３に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：９のサイズに戻して映します。
ディスク内の映像　画面の映像

■S2映像信号
S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。
ディスク内の映像　画面の映像

T

TIFF（Tag Image File Format）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられます。

V

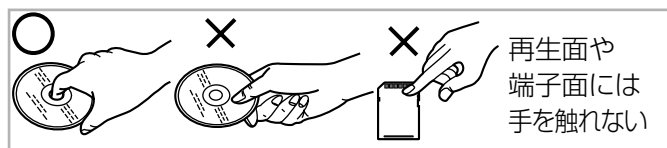
ＶＢＲ（Variable bitrate）
映像の情報量や複雑さに合わせて圧縮率を変化させる記録方式です。

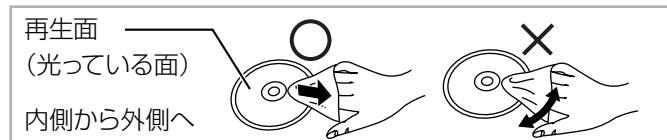
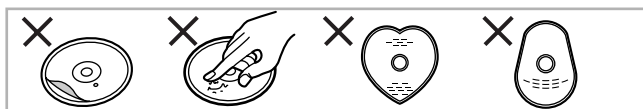
お手入れ・ディスクやカードの取扱い

お手入れ

■録画／再生用レンズが汚れたとき
長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や回数にもよりますが、約1年に一度、DVD-RAM/PDレンズクリーナー（☞8ページ）でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。
- クリーニング中に音がすることがありますが故障ではありません。

■本体が汚れたとき
柔らかい布でふいてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ディスクやカードの取扱い

■持ちかた
■汚れたときや、つゆがついたときは
RAM DVD-R
- 必ず専用のDVD-RAM/PDディスククリーナー（☞8ページ）でふいてください。
  使いかたは、ディスククリーナーの説明書をお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは、絶対に使わないでください。

DVD-A DVD-V CD VCD
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス（☞8ページ）

■取扱い上のお願い
ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。
- ディスクにシールやラベルを貼らない
  （ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させない
- 以下のディスクを使わない
  — シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  — そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  — ハート型など、特殊な形のディスク

- 次のような場所に置かない
  — 直射日光の当たるところ
  — 湿気やほこりの多いところ
  — 暖房器具の熱が直接当たるところ
  — 静電気や電磁波が発生するところ

主な仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

待機時消費電力：約2.0 W※1（電源「切」時）
〔約2.3 W（時刻表示点灯時）約0.7 W（時刻表示消灯時）〕

電源	AC 100 V　50／60 Hz
消費電力	約34 W
外形寸法	430（幅）×291（奥行）×79（高さ）mm
質量	約4.5 kg
許容周囲温度	＋5～40 ℃
許容相対湿度	10～80%RH（結露なきこと）
記録可能なディスク	● DVD-RAM： 4.7 GB／9.4 GB、2.8 GB 4.7 GB Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0 ● DVD-R： 4.7 GB、1.4 GB for General Ver.2.0 4.7 GB for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0
記録方式	● DVD-RAM：DVDビデオレコーディング規格準拠 ● DVD-R：DVD ビデオ規格準拠
記録時間	最大8時間（4.7 GBディスク使用時） XP：約1時間、　SP：約2時間、 LP：約4時間、　EP：約8(6)時間 最大443時間（内蔵HDD使用時） XP：約55時間、　SP：約111時間、 LP：約222時間、　EP：約443(333)時間
再生可能なディスク	● DVD-RAM　● DVD-R　● DVD-Audio ● DVD-Video　● CD-DA（音楽用CD） ● VCD（ビデオCD） ● CD-R/RW（MP3、CD-DA、VCDフォーマットのディスク）
ドライブ	高速対応ドライブ （DVD-R 4倍速、DVD-RAM 3倍速記録対応）
内蔵HDD容量	250 GB
時計	クォーツ制御　24時間表示　デジタル表示
プログラム数	1カ月　32プログラム
停電保証期間	約5年
外部コントロール端子	別売ブロードバンドレシーバー用

■テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式　525本　60フィールド
アンテナ受信入力	**VHF**：1～12 CH　75 Ω　**UHF**：13～62 CH　75 Ω **CATV**：C13～C63 CH　75 Ω

■DV入力

入力端子	**4ピン**（IEEE1394準拠）：1系統

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

■音声方式

記録・再生圧縮方式	**Dolby Digital**：2 ch記録 **リニアPCM（XPモードのみ切り換え可）**：2 ch記録
アナログ入力	**入力端子**：3系統、LINE **基準入力**：309 mVrms **入力レベル**FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB、47 kΩ）
アナログ出力	**出力端子**：2系統［2 ch（ミックス音声）］、LINE **基準出力**：309 mVrms **出力レベル**FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB、10 kΩ負荷）
デジタル出力	**出力端子**：1系統、光コネクター **（PCM、ドルビーデジタル、DTS対応）**

■映像方式

記録圧縮方式	MPEG2（Hybrid VBR）
映像入力	**入力端子**：3系統 **入力レベル**：1.0 Vp-p（75 Ω）
S映像入力	**入力端子**：3系統 **Y入力レベル**：1.0 Vp-p（75 Ω） **C入力レベル**：0.286 Vp-p（75 Ω）
映像出力	**出力端子**：2系統 **出力レベル**：1.0 Vp-p（75 Ω）
S映像出力	**出力端子**：2系統 **Y出力レベル**：1.0 Vp-p（75 Ω） **C出力レベル**：0.286 Vp-p（75 Ω）
D1/D2映像出力（525 P/525 I）	**出力端子**：1系統 **Y出力レベル**：1.0 Vp-p（75 Ω） **PB/CB出力レベル**：0.7 Vp-p（75 Ω） **PR/CR出力レベル**：0.7 Vp-p（75 Ω）

■カード機能［静止画（JPEG、TIFF）］

スロット	● SDメモリーカード ● PCカード（TYPE Ⅱ、前面入力）
対応カード	● SDメモリーカード※2 ● マルチメディアカード ● PCカード（PCカードスタンダードに準拠したメモリーカード）● PCカードアダプター（SDメモリーカード※2、マルチメディアカード、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック、xDピクチャーカード、マイクロドライブ）● モバイルハードディスク
対応フォーマット	FAT12、FAT16
画像ファイル形式	● JPEGベースライン方式[DCF(Design rule for Camera File system)準拠] ● TIFF（非圧縮RGB点順次）対応　● DPOF対応
画素数	34×34～6144×4096 サブサンプリング　4：2：2、4：2：0
解凍時間※3	約7秒（200万画素、JPEG）

※1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。
※2 miniSD™カードを含む(miniSD™アダプター使用時)。
※3 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6588
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

Q＆A(よくあるご質問)

	Q（質問）	A（回答）	ページ
設置／接続	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	● マルチチャンネル音声は本機だけでは楽しめません。光デジタルケーブルで、デコーダー（ドルビーデジタルやDTS）搭載アンプなどを接続してください。 ● 本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声では楽しめません。	準備編7 —
	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか	● 本機には直接接続できません。アンプなどを通して接続してください。	準備編7
	テレビにS端子、D端子とコンポーネント端子があるが、どれに接続したらいいか	● コンポーネントやD端子は、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S端子より、さらに忠実に色を再現します。	準備編5
	プログレッシブ映像を楽しむにはどんなテレビが必要か	● 当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	—
	地上デジタル／BS／CSチューナーを接続できるか	● 外部入力（L1～L3）に接続できます。DV入力には接続できません。	準備編6
	別の地域でも使えるか	● 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	—
ディスク	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか	● 映像方式がNTSCであれば再生できます。 ● DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	— 6
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか	● DVDビデオのリージョン番号はディスクが規格に適合していることも表します。リージョン番号がない場合は再生できません。	—
	DVD-RやDVD-RWは使えるか	● DVD-Rは使用できます。（ただし、ファイナライズしたDVD-Rは再生のみできます。） ● 高速記録対応のDVD-Rも使用できます。 ● DVD-RWは使用できません。	— — —
	CD-RやCD-RWは使えるか	● CD-DA、MP3、ビデオCDのいずれかの規格で記録後、ファイナライズされた音楽用CD-R、CD-RWが再生できます。 ● 本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	— —
録画や録音	ビデオやDVDから録画できるか	● 市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	—
	本機で録画したDVD-Rは他の機器で再生できるか	● 本機で録画したDVD-Rを本機で「ファイナライズ」すると、DVD-R再生対応機器で再生できます（ただし、すべての機器で再生保証するものではありません）。また、記録状態によって再生できない場合があります。	43
	ディスクに高速でダビングできるか	● 高速記録対応のディスクを使用すると、DVD-Rに最大32倍速、DVD-RAMに最大24倍速でダビングできます。	35
	本機でデジタル信号を録音できるか	● 本機のデジタル音声端子は出力のみのため、デジタル信号では録音できません。（DV入力で記録したデジタルビデオカメラなどの音声はデジタル録音されます。）	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか	● デジタル信号（PCM）で録音できます。DVDの音声を録音する場合、「デジタル出力」を以下のように設定してください。 "PCMダウンサンプリング変換"："入"、"Dolby Digital"："PCM"、"DTS"："PCM" （ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。） ● MP3信号は録音できません。	45 —
地上デジタル・CS・BS放送	地上デジタル・CS・BSの放送を録画できるか	● 地上デジタル・BS・CSのチューナーなどを本体の外部入力（L1～L3）に接続し、チャンネルでL1～L3を選ぶと録画できます。 ● 有料放送は放送会社との受信契約が必要です。 ● デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、HDDを使用するか「CPRM」対応のDVD-RAMが必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、録画したこれらの映像は複製できません。 ● デジタルハイビジョン画質での録画はできません。 ● 「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、DVD-Rには録画できません。 ● チューナーが予約待機できる場合、「外部入力自動録画」で録画できます。 ● チューナーのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。（接続した機器の説明書をご確認ください。）	準備編6、12 — — — — 15 —
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか	● M-Nコンバーター内蔵の機器を本体の外部入力（L1～L3）に接続し、チャンネルでL1～L3を選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	準備編6、12

エラーメッセージ

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
異常が発生しました　決定ボタンを押してください	● ［決定］を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中（表示窓に“SELF CHECK”表示中）は操作できません。	—
ディスクが入っていません	● ディスクが裏返しになっていませんか。	—
（対応）カードが入っていません	● カードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ● カードのフォーマットが異なっています。	7、24 25
記録できないディスクが入っています このディスクは規定のフォーマットがされていません	● DVD-RAM、DVD-R以外のディスクやファイナライズ後のDVD-Rが入っています。 ● フォーマットされていないDVD-RAMが入っています。	— 42
(ディスクなどが)いっぱいで記録できません 番組数がいっぱいで記録できません ダビング先の容量が足りません	● 不要な番組（タイトル）や写真を消去してください。（DVD-Rは番組を消去しても残量は増えません。） ● 新しいディスクやカードを使ってください。	22、25、29、32、42 —
録画を正常に終了できませんでした	● 録画禁止の番組のため、録画できません。 ● ディスクの残量がなくなっていませんか。	— —
ディスクへの書き込みができません ディスクを確認してください フォーマットできません	● ディスクに傷や汚れがありませんか。 ● マイクロドライブやモバイルハードディスクは、本機でフォーマットできません。	47 —
ディスクを交換してください	● ディスクに異常が発生した恐れがあります。[▲]を押して、ディスクを取り出してください（電源が切れます）。ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	47
ホスト局が設定されていません 番組データは未取得です	● チャンネルと番組表設定を設定してください。	準備編8
この放送局の番組データは取得できません	● 「Gガイド地域」の設定に対応していない放送局ではありませんか。 ● 放送局名が正しく設定されているか、「マニュアルチャンネル設定」で確認してください。	準備編12 準備編14
⃠	● ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	—
再生できません	● 非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。	—
本機では再生できません	● 非対応の画像を再生しようとしました。 ● 本体の電源を切り、カードを入れ直してください。	— 24
フォルダがありません	● 本機で対応したフォルダがありません。	46

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	● ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ● DVD-RAM/PDレンズクリーナーでの作業が終了しましたので［▲]を押して取り出してください。	47 —
SELF CHECK	● 停電または、動作中に電源コードが抜けたため、復旧動作中です。表示が消えれば使えます。	—
UNSUPPORT	● 本機で録画や再生できないディスクが入っています。	6
HARD ERR	● 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD SLP	● HDDの寿命を延ばすため、休止状態になりました。[HDD]を押すとHDDが起動します。	9
PROG FULL	● すでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。	19
U12 REMOTE(数字)※ ※(数字)は1～3のいずれかを表示	● 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。 U12 REMOTE 1 — この数字のボタンと［決定］を同時に2秒以上押したままにしてください。	11
U14	● 本体の内部温度が上昇しています。 安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。 できるだけ風通しのよいところに設置し、冷却ファンの周りを空けてください。	—
U99	● 本体が正常に動作しません。本体の[電源]（⏻/I）を押し、電源を入／切してください。	—

故障かな!?

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音がする
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる
- 早送り／早戻しすると映像が乱れる
- BS/CS放送の一時的な休止による受信障害
- HDD休止時に音がする
  休止中の反応が遅い

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 ●外部入力自動録画の待機中ではありませんか（“EXT Link”点灯）。[外部入力自動録画]を押して解除してください（“EXT Link”消灯）。	— 15
	電源が自動的に切れる	●節電機能（「自動電源〔切〕」）が設定されていませんか。 ●安全装置が働いています。本体の[電源]（⏻/I）を押し、電源を入れてください。	44 —
表示	表示が暗い	●「FLディマー」で明るさを変えてください。	45
	「0：00」が点滅している	●時刻を合わせてください。	11
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒（29.97フレーム）としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。（例）1時間番組の時間表示は約59分56秒となります。	—
	残量が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする MP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。 ●DVD-Rは番組を消去しても残量は増えません。 ●DVD-Rに録画や編集を200回以上繰り返すと残量が減ります。 ●早送り／早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — — —
テレビ画面や映像	接続後、テレビの映りが悪くなった	●分配器を使っていませんか。市販のブースターで改善できることがあります。	—
	画面メッセージが出ない	●「オンスクリーン表示〔オート〕」が「入」になっていますか。	45
	ブルーバック（青い画面）にならない	●「ブルーバック」が「入」になっていますか。	45
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の入切にかかわらず実行されます。予約録画の内容を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	地上デジタルやCS、BS放送が映らない 有料番組やハイビジョン放送が見られない	●接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ●本機ではハイビジョン放送は見られません。	準備編6 —
	ハウリング（ピー）音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	横：縦比4:3の画像が左右に伸びる 画面サイズがおかしい	●テレビの画面モードなどを使って調節してください。 調節できないときは「映像」メニューで「プログレッシブ」を「切」にしてください。 ●「接続するTV」「ワイドモード」「DVD-Video」「DVD-RAM」の設定を確認してください。	— 26 44、45
	再生時の映像に残像が多い	●「映像」メニューで「3次元NR」「インテグレイティッドDNR」を0にするか、「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	26
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が瞬間的に二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。「映像」メニューで「プログレッシブ」を「切」にしてください。	26
	画質調整が働かない	●映像によっては働かないことがあります。	—
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブに対応していないテレビに接続していませんか。 本体の[■]（停止）と[タイムワープ]を同時に5秒以上押してください。 ●ハイビジョン方式の端子に接続していませんか。音声が乱れたり、映らないことがあります。	準備編4~7 — —
	テレビの入力チャンネルが勝手に切り換わる	●テレビの入力を「ビデオ1」以外にした状態で、リモコンの[▶]（再生）や[プログラムナビ]を押したとき、テレビの入力が「ビデオ1」に切り換わることがあります。 リモコンの［テレビ電源］を押しながら[▶]（再生）を押してください。	—
音声	音が出ない 音が小さい、おかしい 聞きたい音声が出ない	●接続・「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続している場合は、入力切り換えも確認してください。 ●音声選択が間違っていませんか。[音声]で正しい音声を選んでください。 ●以下の場合は「サラウンド」を切ってください。 －カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合 －二重放送の番組を再生する場合 ●ディスク側で音声の出力方法を制限されていませんか。表示窓に“D.MIX”が表示されない3チャンネル以上のディスクは、本機ではフロントの2チャンネルのみが再生されます。ディスクのジャケットなどを確認してください。 DVD-A	準備編4~7、45 22 26 —
	音声が切り換えられない	●以下の場合は音声の切り換えができません。 －「DVD」を選択中、ディスクトレイにDVD-Rが入っている場合 －録画モードがXPで、「記録音声モードの設定〔XP時〕」がLPCMの場合 －「DVD-R高速モード用録画」が「入」の場合 ●光デジタルケーブルでアンプと接続していませんか。「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	— 45、準備編7 —

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。 U12 REMOTE 1 この数字のボタンと［決定］を同時に2秒以上押したままにしてください。 ●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）がありませんか。 ●受光部に、日光などの強い光が直接当たっていませんか。	準備編裏表紙 11 準備編2 — —
	操作できない	●[HDD]や[DVD]などを間違って選んでいませんか。 ●ディスクによっては一部操作ができません。 ●“U14”点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U14”が消えるまで待ってください。 ●安全装置が働いている場合があります。本体の[電源]（⏻/I）を押し、電源を入／切してください。切れない場合は約10秒押したままにするか、電源プラグを抜き、約1分後に入れてください。	12､13､20､24 — — —
	HDDの起動が遅い	●HDDが休止状態になっていました(表示窓に“HDD SLP”と表示)。	9
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で、本体の［■］（停止）と［チャンネル ∧］を同時に約5秒間押したままにするとディスクトレイが開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	—
録画や予約、ダビング	録画できない	●ディスクが入っていますか。録画できないディスクが入っていませんか。 ●フォーマットされていないDVD-RAMが入っていませんか。 ●ディスクやカートリッジが書き込み禁止（プロテクト）になっていませんか。 ●録画制限のある番組を録画しようとしていませんか。 ●残量がない場合や、番組（タイトル）数が最大数になっている場合は録画できません。不要な番組（タイトル）を消去してください。 ●ファイナライズしたDVD-Rに録画しようとしていませんか。 ●ディスクの出し入れや電源の入切を50回以上繰り返したDVD-Rは録画や編集できなくなることがあります。 ●本機で録画したDVD-Rは他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	6 42 27 — 22、29、42 — — —
	予約録画できない	●予約内容が間違っていませんか。予約録画の時間帯が重なっていませんか。 ●“⌚”が消灯していませんか。[⌚]（タイマー切/入）を押してください（“⌚”点灯）。 ●時刻が合っていますか。	19 16、18 11
	[■]（停止）を押しても、予約録画や外部入力自動録画が停止しない	●予約録画のときは［⌚］（タイマー切/入）を押してください（“⌚”消灯）。 ●外部入力自動録画のときは[外部入力自動録画]を押してください（“EXT Link”消灯）。	16、18 15
	終了後も予約内容が消えない	●毎日・毎週予約では予約内容が残ります。	18
	外部入力自動録画できない	●チューナーなどが、本機の外部入力1（L1）に接続されていますか。	準備編6
	録画した番組（タイトル）が消えた	●録画や編集中に、停電や電源コードが抜けるなどで電源が切れませんでしたか。番組が消えたり、ディスクが使えなくなることがあります。フォーマットする（HDD RAM）か、新しいディスクを使ってください。（当社では消えた番組や、使えなくなったディスクの補償はしません。）	42
	DVD-Rに高速モードでダビングできない	●録画時に「DVD-R高速モード用録画」を「入」に設定しましたか。	44
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクではありませんか。高速記録対応ディスクであっても、ディスクの状態によっては最高速にならないことがあります。 ●番組（タイトル）数が多い場合は時間がかかります。 ●6時間以上の番組（タイトル）は、EP(8H)モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、DVD-Rに高速モードでダビングできません。	— — —
	DVD-Rでディスクの回転音が大きい	●DVD-Rへの録画時や高速モードでのダビング時は通常のディスク回転音より音が大きい場合があります。	—
	DV入力自動録画ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●DV機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合、正しく録画できない場合があります。 ●機器によっては、DV入力自動録画がうまく働かないことがあります。	38 — — —
番組表（EPG）	番組表が表示されない、または8日分表示されない	●「番組表設定」を確認してください。 ●番組表データは1日に数回送信されます。お買い上げ直後や、データ送信時間に本機を使用していた場合は、番組表データが受信されていません。 →電源「切」状態でしばらくお待ちください。（1日程度かかる場合があります。お買い上げ時の受信時刻設定は「番組表データ送信時刻」をご覧ください。） ●時刻が合っていますか。 ●電源「入」時や外部入力自動録画の待機中には、番組表データは受信できません。 ●ホスト局の電波が弱い場合や、強度のゴーストを含んでいる場合は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	準備編15 準備編9 11 — —
	番組表に表示されない放送局がある	●「放送局名」が正しく設定されていますか。 ●「Gガイド地域」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表に放送内容は表示されません。	準備編14 準備編12
	番組表に“予”が表示されない	●番組の一部のみを予約した場合は表示されません。	—
	録画した番組とタイトル名が合っていない	●予約設定後に番組内容が変更されても、予約時のタイトル名で録画されます。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生	再生できない、すぐ停止する	●ディスクの裏表が逆になっていませんか。 ●本機で使えないディスク、未記録のDVD-RAM、DVD-Rが入っていませんか。 ●他の当社製DVDレコーダーでDVD-RAMに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	20 6 — 44
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生すると起きます。 ●高速モードでダビングしたファイナライズ後のDVD-Rでは、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。	— —
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されていませんか。	44
	音声や字幕の言語が切り換わらない	●複数の言語が収録されていますか。 ●画面設定では切り換わらないディスクがあります。ディスクのメニューを使ってください。	— —
	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、「字幕情報」が「入」になっていますか。	26
	アングルが切り換わらない	●ディスクに複数のアングルが収録されていますか。	—
	視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。[DVD]を押し[≜]を押して、トレイが開いている状態で、本体の[⏮／◀◀]と[▶▶／⏭]を同時に5秒以上押してください。	—
	早見再生ができない	●「早送り時の音声と1.3倍速再生」が「切」になっていませんか。 ●音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ●録画モードがXPかFRでの録画中はできません。RAM	45 — —
	自動CM早送りができない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●早見再生中は働きません。	— —
	続き再生メモリー機能が働かない	●表示窓の“再生”が点滅していないときは、働きません。 ●記憶した位置は、電源を切ったりディスクトレイを開けると解除されます。プレイリストの場合は、番組（タイトル）やプレイリストを編集したときも解除されます。	— —
編集	フォーマットできない	●ディスクが汚れていませんか。専用クリーナーできれいにふいてください。 ●本機で使えないディスクを使っていませんか。	47 6
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点、アウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●静止画部分ではできません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにあると設定できません。	— — —
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	29
	番組(タイトル)を消しても残量が増えない	●DVD-Rに録画している場合は、消去しても残量は増えません。	—
	プレイリストが作成できない	●番組（タイトル）が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。	—
写真	プログラムナビ画面を表示できない	●録画中やダビング中、外部入力自動録画の待機中はできません。	—
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。（カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定　オフ」と表示される場合があります。）	27
	カードの内容が読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか（カードの内容が壊れている場合もあります）。 他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。	25 42 46 —
	複製（ダビング）や消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダ数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●複製（ダビング）や消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 42
	PCカードが取り出せない	●必ず、PCカードを奥まで差し込んでから取り出してください。	24

著作権など

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDビデオレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

51～53ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVDビデオレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品番	DMR-E95H	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

窓口	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

窓口	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

さくいん

は準備編です。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のDVDビデオレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか	
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	販売店名	
品　番	DMR-E95H		☎（　　）　－

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571－8504　大阪府門真市松生町１番15号

RQT7636-S
F0404CM3104